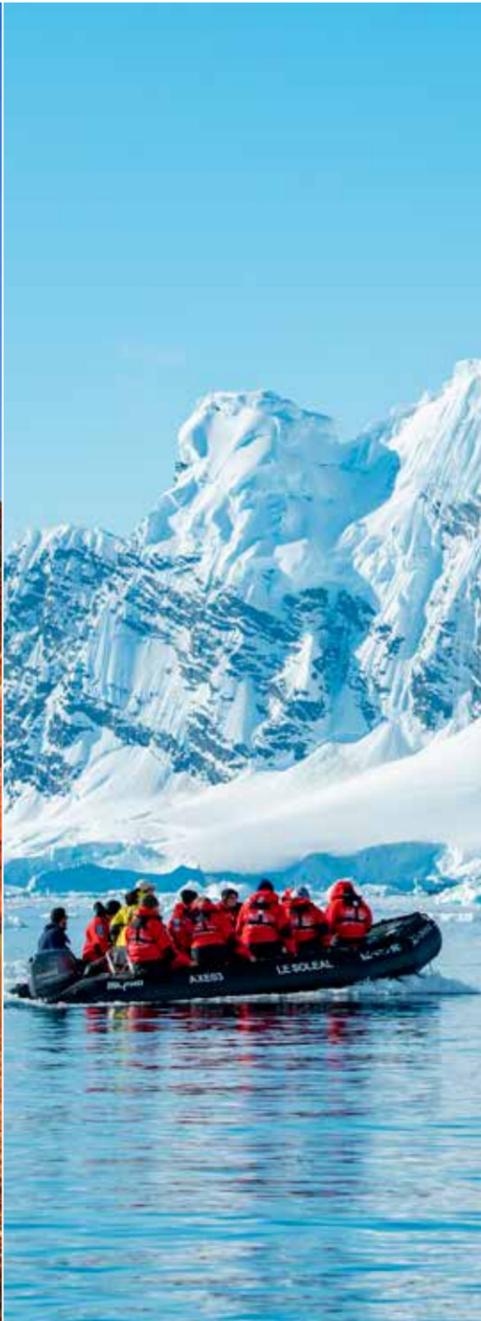
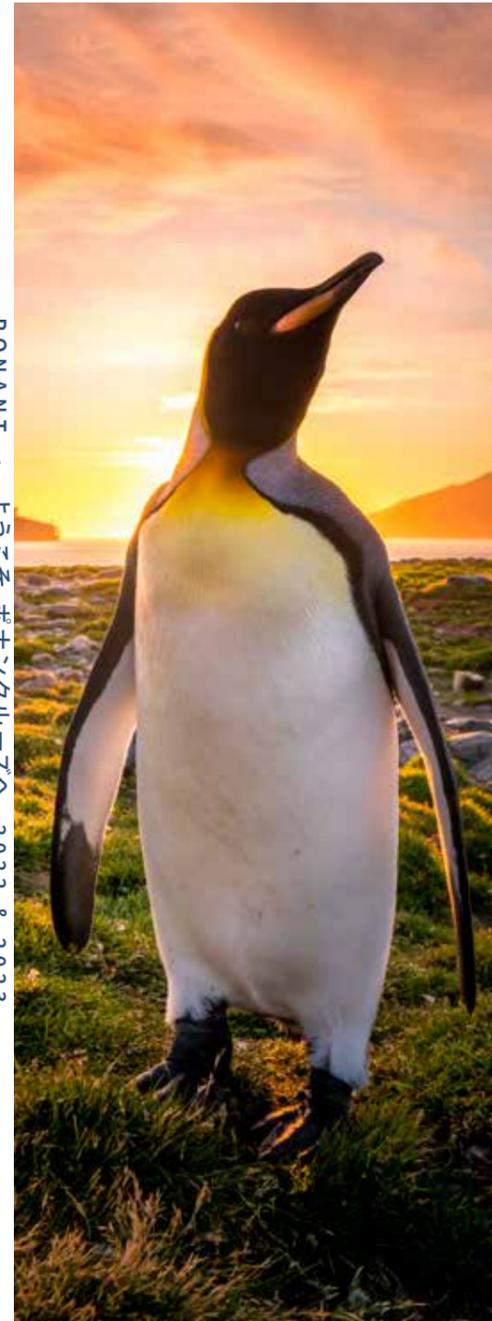


World Leader of Luxury Expeditions



PONANT・ようこそポナンクルーズへ 2022 & 2023



FOLLOW US ON SOCIAL MEDIA

PONANT の旅の様子や最新情報をSNSで配信中!

facebook.com/PonantAU

Instagram @ponant

Youtube youtube.com/PonantCruises

発行日:2022年 1月20日

アジア太平洋本社:Ground Floor, One Cassins Avenue, North Sydney NSW 2060 AUSTRALIA au.ponant.com

ようこそ ポナンクルーズへ 2022 & 2023

オーストラリア・ニュージーランド・メラネシア&南太平洋
日本・インド洋・北極・南極

Luxury Expeditions by Ponant

ようこそ ポナンクルーズへ

ポナンのラグジュアリー・エクスペディション——

それは、私たちの暮らすこの地球を知る旅でもあります。

洗練されたラグジュアリーで快適な空間、そして探求心と冒険心を満たす特別な時間を、

「極地」と呼ばれる最果ての地でも提供いたします。

「発見に満ちた旅への情熱」と「冒険的精神」に深く根ざした長い伝統を持つポナンの船旅。

私たちは、お客様一人ひとりの好奇心を刺激する、

オーダーメイドな体験を提案してきた、クルーズ業界の先駆者です。

南極や北極といった極地へも、

パプアニューギニア、オーストラリア・キンバリー地域などの熱帯地域へも、

ポナンは皆様を、人々が行き交う航路から遠く離れた、

手つかずの自然と豊かな文化に満ちた場所へご案内します。

ゴールド・ハーバー(サウスジョージア島)に生息する
キングペンギン

Contents -目次-

ポナンクルーズの特徴.....	P 6	メラネシア(太平洋南西部) & 南太平洋.....	P 36
エクスペディション・チーム.....	P 10	沖縄・南西諸島.....	P 42
クルーズ代金に含まれるもの&特典.....	P 16	インド洋.....	P 46
ラグジュアリー・エクスペディション 年間カレンダー(2022&2023年).....	P 18	南極.....	P 52
オーストラリア.....	P 24	北極.....	P 58
ニュージーランド.....	P 32	砕氷船「ル・コマンダン・シャルコー」でまだ見ぬ世界へ.....	P 66
		客船のご紹介.....	P 80

From polar cap to outback,
each day an atlas of destinations and discovery...

ポナクルーズだから
行くことができる
魅惑の旅先へ

オーストラリア・キンバリー地域のコリアー湾に上陸するゾディアック・ボート。
海路でしか訪れることができない場所での体験に、ポナン・ラグジュアリー・
エクスペディションの真髄があります。

The Ponant difference

ポナンクルーズの特徴

フランスの伝統を備えた世界的クルーズ会社

海を愛する、3人の船乗りによって始まったポナンクルーズは、洗練され卓越した船旅を30年以上に渡って提供してきた実績があります。ポナンのラグジュアリー・エクスペディションには、フランスが培ってきたラグジュアリーの煌めきが散りばめられています。サービスや料理、内装、各種デザインに溢れるフランス流ラグジュアリーをご堪能ください。

世界で最も新しく、現代的なラグジュアリースモールシップ

私たちの客船は全て過去10年のうちに建造され、その半数が2018年以降に建造されています。革新的で最新の船を小型化することで、まるでプライベートヨットで航海をしているような、温かみのある雰囲気をお楽しみいただけます。ラグジュアリー・ヨットクルーズでは世界の都市の文化を楽しんでいただきながら、ポナンならではの快適なクルーズを実施しています。(詳しくはP76-77をご覧ください)

究極の“非日常”を味わえるクルーズ会社

行き先が北極や南極、セーシェル諸島でも、喫水(海面以下の船体の底の部分の高さ)の浅さを利用し、さらにコンパクトな船ならではの高い操縦性を活かし、大型船では訪れることができない島々にも接近、上陸することが可能です。普段人間の目に触れることなく手つかずのまま残されている場所を訪問できるのもポナンならではの楽しみです。

極地探検のスペシャリストがご案内

それぞれの寄港地の豊富な知識を備えるスペシャリスト「エクスペディション・チーム」。一人ひとりが経験豊かな専門家として、訪問地の状況把握を常に行い、上陸中も船上でも豊かな自然・文化・歴史の魅力にふれることができるよう、最適なお案内を行います。

最大限の時間をお楽しみいただくために案内

乗客数を抑え、乗下船にかかる時間を減らすことで、寄港地の滞在時間を最大限確保することができます。ポナンの客船は、素早く簡単な乗船・下船を可能にする安定した造りのマリーナ・プラットフォームがあり、安全にゾディアック・ボートに乗って移動することができます。到着した寄港地の魅力を少しでも長く味わうことができるのがこのクルーズの魅力です。

航海中の健康と安全の確保

ポナンクルーズで使用する全ての客船には診療室が備わっており、医師と看護師が24時間体制で待機しています。クルーズを安心して楽しんでいただくために、お客様のニーズに合わせた包括的な健康・医療サービスを提供しています。

環境への取り組み

ポナンの環境への取り組みは、厳格な審査基準をもつ以下の組織によって認証されています。
ビューローベリタス(フランス船級協会)：クリーンシップ、クリーンシップスーパー認証。この認証は、船舶の排出率、廃棄物および廃水処理の点で厳しい基準を満たしていることを保証します。
ドイツ自然保護連盟(Nabu)：ドイツ自然保護連盟(Nabu)による2020年の年間ランキングにて、「環境に最も優しいクルーズ会社」1位に選ばれました。
グリーンアライアンス(Green Alliance)：2019年、ヨーロッパのクルーズ会社として初めて、環境に優しい操業と技術の採用を証明する「北米グリーンマリン認証」を取得しました。
レ・パルム・ドゥ・ツーリズム・デュラブル(Les Palmes du Tourisme Durable)：重油から低硫黄燃料油(LSFO)に完全に切り替えたことに対して、「旅行」部門で持続可能な観光賞を受賞しました。



ラフト・ポイント絶壁(キンバリー地域コリアー湾)を航海するル・ラベルーズ



ブリッジ(操舵室)



バヌアツでのウェルカムパフォーマンス



ホエール・ウォッチング(南極)

Let us create your
PONANT Moment

ポナンでの一瞬を

ゾディアック・ボートのそばに浮上してきたクジラの熱い息吹にふれ、好奇心旺盛なペンギンの子どもが無邪気に近づいてきて心がやわらぐ瞬間。水平・フォール迫りに驚き、イリエワニを間近で見てドキドキした瞬間。訪問先の村に温かく迎え入れられ、生活や文化を分かち合ってもらう——そんな人々の温かさや真心に感動した瞬間。どれも思いがけない貴重な体験ばかり。ポナンの旅で味わう数多くの感動の瞬間は、一生忘れることのない、かけがえのない思い出となるでしょう。「またあのような瞬間を」と時間をあけることなく戻っていらっしゃるお客様を、私たちはいつでもお待ちしております。



南極大陸で初めて冰山を発見



パイニング族の伝統的なファイヤーダンス(ラバウル)



南極大陸でのカヤック体験



キンバリー(オーストラリア)での野生動物サファリ



バードウォッチング
(ニューージーランド)



トウフィの人々と一緒にパドルを漕ぐ
(ハバニューギニア)



サハリア島(インドネシア)にて
ゾディアック・ボートでの上陸をサポートする現地の方々

We share
our expertise

経験豊富なエクスペディション・チーム

ポナンのエクスペディション・チームは、極地の厳しい環境と地域の特殊性を熟知したスタッフで構成されています。事前の調査視察や各ツアーの入念な計画、専門知識や経験に基づく運航計画、そしてクルーズ中は航行エリアに関するお客様からのさまざまな疑問・質問にもお答えします。エクスペディション・チームはこれらを遂行し、お客様との絆を深め知識の共有をすることで、お客様自身を現地を深く理解する「真の親善大使」へと導いていきます。経験豊かなプロフェッショナルたちだからこそ提供できる、実りある豊かな体験。一つひとつが唯一無二のものであるポナンのクルーズが、この地球に存在する「最も遠く神秘的な場所」へお連れします。



エキスパートの案内のもと楽しむゾディアック・ボートツアー
キング・ジョージ・リバー(キンバリー)

ミック フォグ MICK FOGG

エクスペディション・マネージャー&リーダー：アジア太平洋

2012年、ボルネオ島での保護活動が評価されオランウータン財団インターナショナルの初代大使に任命される。これまで、アジア太平洋地域で300以上のエクスペディションを率い、冒険と旅への情熱を多くのお客様と分かち合ってきた。数々の受賞歴を持つ野生動物の写真家で冒険家でもあるミックは、20年以上に渡り、南極から東南アジアまで、素晴らしい景色で圧倒する「極地の中の極地」へのユニークで、オリジナリティあふれるエクスペディションを成功させている。



サンドリン アーウィン-ローズ SANDRINE ERWIN-ROSE

エクスペディション・オペレーション・マネージャー&リーダー：アジア太平洋

コルシカ島で生まれたサンドリンの人生最初の思い出は、地中海の透き通った海でのシュノーケリングと、雑木林で追いかけたトカゲやカメ。その後、オーストラリアに移住しクイーンズランド州北部で育った彼女は、グレートバリアリーフや周辺の熱帯雨林を、自分の裏庭のように端から端まで知り尽くした。ジェームズ・クック大学で熱帯動物学・生態学・海洋生物学、タスマニア大学で南極科学を学び、教員免許を取得。2014年以降、ポナンのエクスペディション・リーダーとして、アジア太平洋地域と南極大陸を中心に活動している。



伊知地 亮 RYO IJICHI

日本・韓国支社長&エクスペディション・リーダー

2002年に初めて南極を訪れて以来極地に通い続け、エクスペディションにまつわる技術や知識を習得。現在、ポナンのエクスペディション・ガイド兼リーダーの役割を担う。北極点を含む北極圏のさまざまな地域で活動し、南極大陸には100回以上渡航。その他、人里離れた原生地帯にも足を運んできた。また日本・韓国支社長として、日本/韓国市場にポナンの魅力を広めている。クルーズ業界初となる「南西諸島でのエクスペディション」を皮切りに、日本の海岸線に沿って広がるエクスペディションを企画中。



アラスデア ニュートン ALASTAIR NEWTON

ナショナル・ジオグラフィック・パートナーシップ・ディレクター&エクスペディション・リーダー

北極圏の野生動物への情熱を深めたアラスデアは、イギリスから、冬にはマイナス40度にもなるアラスカへ移り住み、アラスカ大学にて学ぶ。卒業後、デナリ国立公園で野生ガイドとなり、2004年にはアラスカ沿岸の海で船の仕事始める。アラスカでの経験を経てポナンのエクスペディション・リーダーとなり、現在では約100カ国、200以上のエクスペディションを指揮している。また、ポナンの『ナショナルジオグラフィック』とのパートナーシップ担当者として、世界中からやってくるお客様のために新しいツアーの企画を行っている。





We better protect what we know
A respectful approach for purposeful expeditions

大切なものを守っていく責任 持続可能なクルーズのための取り組み



ポナンは環境保護と持続可能なツーリズムを牽引する存在としての役割を果たしています。海に情熱を持つ船乗りとして、また自然を愛する者として、それが私たちの責任だと考えるからです。客船の建造、エクスペディションの企画、現地の事前視察と地域からの合意形成を得ること、お客様に向けた啓蒙など、それら全ての中心にあるのは「私たちの愛する訪問地を守る」という思いです。

持続可能なツーリズムへの取り組み

ポナンは、クルーズ中の廃棄物を削減し、二酸化炭素排出量を最少化する取り組みを行っています。

また、全ての船に電気推進エンジンが搭載されています。これにより騒音や振動を最小限に抑えるとともに、海洋生態系への影響も最小限に抑えることが可能となりました。最新の船「ル・コマンダン・シャルコー」は、液化天然ガス（LNG）を燃料とする世界初のハイブリッド電気式極地探査船であり、持続可能なツーリズムを目指すポナンの思いを形にした船です。（詳しくはP68-69をご覧ください）

現地コミュニティとの連携

訪問先のコミュニティの文化や伝統は、旅をするうえで大きな魅力のひとつです。ポナンの意識の中心には、常に「現地の人々やコミュニティ」の存在があります。それは新しいエクスペディションの企画をはじめたときから、実際にお客様を訪問地へご案内する瞬間にまで至ります。大切なパートナーとしてツアーをともに支えてあう関係性をつくること。皆様の訪問時には、現地の文化や伝統、生活を共有してもらいともに時間を過ごす——それがお客様にとってのかけがえのない体験につながればと考えています。またポナンでは、現地の伝統的な文化工芸を支持・支援すると共に、現地コミュニティからサービスや製品の購入を優先しています。

「ゼロ・インパクト下船」プロトコル

ポナンは、持続可能なツーリズムと環境保護を牽引する企業として、寄港地で適用する厳格な上陸基準を定めています。企画から実際の訪問の瞬間まで、地域の環境を保護することを念頭に、厳しい基準を設けて設計・実行していきます。その目的はただ一つ「ゼロ・インパクト」。すなわち、寄港地に与える環境負荷をゼロにすること、訪問地の生態系や地域社会に敬意を払った上陸を実現すること、そして、訪問地上陸時と全く同じ姿で残したままその地を去ることを目指しています。

ポナン財団

2019年に誕生したポナン財団の設立目的は、世界中の海と極地の環境を守り、これらに関する活動を活発化させることです。私たちが訪れる寄港地に関する研究・調査、社会的認知啓蒙、環境保護などのプロジェクトの支援を行っています。極地南極でクジラの科学的研究・保護からインド洋に浮かぶセーシェルでのビーチ・クリーニング・プロジェクトまで、ポナン財団は「より持続可能な未来に貢献する」世界中のさまざまなプロジェクトを支援しています。



ポナンは、国際南極ツアーオペレーター協会（IAATO）と北極探検クルーズオペレーター協会（AECO）のメンバー企業です



Welcome On board

ポナンのラグジュアリー・エクスペディション

洗練されたラグジュアリーでユニークな冒険を



船内デザイン

フランスの建築家ジャン・フィリップ・ヌエルがデザインを担った船内と客室。全客室の95%にプライベートバルコニーを備え、ポナンの考える優雅な海の旅のイメージ、ホスピタリティの精神が反映されています。

船内のパブリックエリアやラウンジは、静かで落ち着いた時間を過ごすのに最適な場所。メインラウンジでは、ドリンクを片手に団らんを。ピアノのあるパノラマラウンジでは、水平線を眺める時間を。屋外のバーでは、プールやサンデッキのそばでカクテルをお楽しみください。

また、シアターでは、エクスペディション・ガイドによるレクチャーやイブニング・コンサートをお楽しみいただけます。他にも、ライブラリーで本を読んだり、客室でくつろぎながらビデオオンデマンド・サービスで映画やドキュメンタリーを鑑賞することも可能です。

ガストロノミー(美食)体験

ポナンのシェフとキッチンチームは、フランスの食文化への情熱を、訪問先の食材や伝統からのインスピレーションで膨らませ、お客様にご提供いたします。最高のガストロノミー(美食)体験をしていただくため、世界的に有名なフランス人シェフ、アラン・デュカスのコンサルティング会社であるデュカス・コンセイル社と協力し、料理のコンセプトから船上のシェフのトレーニングまで、最高水準のサービスを提供しています。

ポナンのラグジュアリー・スモールシップには2つの異なるレストランが存在しています。ガストロノミック・レストランでは、朝食はアラカルト形式、昼食・夕食は世界各国あるいはフランス料理のセレクションが伝統的な最上級フレンチ・ホスピタリティのもと、テーブルに運ばれます。グリル・レストランでは、ヘルシーで美味しい様々なメニューを、朝食・昼食・夕食の時間帯を通してお楽しみいただけます。

フランスらしさ

ポナンの船内には、フランス人が大事にする「アール・ド・ヴィーヴル(暮らしをアートする:生活美学)」の要素が溶け込み、常に卓越性を追求しているフランスの一流ブランドと連携しています。エルメスのバスルーム・アメニティや、ピエール・フライのリネンやファブリック。アフタヌーン・ティーではラデュレのマカロンを楽しみ、ヴーヴ・クリコのシャンパンや、ルノートルのパストリーやパンに舌鼓を打ち、ソティス・パリのスパ・トリートメントをお楽しみください。

Sailing with confidence

安心して航海いただくために

上陸中・船内に関わらず、お客様の安全こそが私たちの最優先事項です。ポナンの客船は小型で乗船人数が限られており、また最先端の施設と技術設備を備え、世界で最も高い安全基準で運行しています。お客様の健康や衛生面についても包括的なプロトコルが実施されています。

What's included

クルーズ代金に含まれているもの

- 船室
- 船室内のバスルームアメニティ
- 船室内のオンデマンドムービー
- 船上でのお食事(モーニングティー、朝食、昼食、夕食、ペストリー)
- 手作りのアフタヌーンティー(ポナン・ラグジュアリー・エクスペディションのシグネチャー・エクスペリエンス)
- 船長主催のカクテル・ウェルカム・レセプションとフェアウェル・ガラ・ディナー
- オープンバーでの飲み物各種(シャルル・エドシック社のシャンパン・ワイン・ビール・スピリッツ・ソフトドリンク)
- 毎日補充される船室のミニバー
- 少人数制のゾディアック・ボート・エクスカーションと上陸におけるエクスペディション・ガイドの同行
- 船内のレクチャー、トーク、シアターでのエンターテインメント
- ウェルネス・エリア(フィットネスルーム、サウナ、温水プール)の利用
- 世界初となる多感覚海中ラウンジ「ブルー・アイ」の利用(エクスプローラーズのみ)
- 無制限Wi-Fi
- ルームサービス(24時間対応)
- 스위트ルームでのバトラーサービス
- 全極地エクスペディションにおけるブーツのレンタル
- 全極地エクスペディションにおけるエクスペディション・パルカ
- 船の操舵室見学ツアー
- 港湾税、国立公園入場料
- 遠征前後の送迎(条件あり)



Ponant Advantages

特典

ポナン・ボーナス料金

ポナン・ボーナス料金とは、最大30%の割引を提供するプロモーション料金です。空室状況に応じて変動し、出発日が近づき残りの客室が少なくなるにつれて料金が上がっていきますので、早期に予約をするほど割引率が高くなります。その時点での最安値の料金が表示されます。

ウェルカム特典(ポナンでの旅が初めての方対象)

ラグジュアリー・エクスペディション乗船頂くことへの感謝の気持ちとして、ポナンでの初めての船旅では1室あたり500€の割引をご用意しました。ようこそ、ポナンの船旅へ! ※適用には条件がございます。お問い合わせください。

お一人乗船特典

ポナンのエクスペディションにお一人で参加の方々には、様々なシングル追加料金の割引をご利用いただけます。(シングル追加料金がなしになるクルーズもあります) ※本特典は特に記載がない限り、他特典との併用は不可です。

連続乗船割引

連続した複数のクルーズを予約いただきますと、最初に乗船されるクルーズ代金を10%割引いたします。2回目のクルーズ代金では最大20%、3回目では最大30%、4回目では最大40%の割引が適用可能です。※割引対象はクルーズ代金のみとなります。※適用には条件がございます。お問い合わせください。

ハネムーン特典

クルーズ代金の5%割引、シャンパン1本、船上での写真撮影費用と5枚の無料写真、スパトリートメント2回をプレゼントします。※適用には条件がございます。お問い合わせください。

結婚記念特典

結婚の節目の記念がある年に出航するクルーズにご参加いただいた場合、クルーズ代金より1室につき200€の割引が適用されます。※1年に1回のみご利用いただけます。※適用には条件がございます。お問い合わせください。

*P26~74に掲載してるクルーズ代金は2022年1月14日時点のものです。空室状況に応じて料金が変動しておりますので、最新の代金についてはお問い合わせください。



リピーター特典 ポナン・ヨットクラブ

2回目以降の乗船のお客様には、クルーズを存分に楽しんでいただくため、船内や寄港地での様々な特典をご用意しています。

Luxury Expeditions Calendar
 年間カレンダー
 2022 & 2023



出発日	使用客船	旅程	日数	行き先	
2022.3.19	ル・ラベルーズ	ダーウィン - ブルーム	10	オーストラリア	P 26
2022.3.29	ル・ラベルーズ	ブルーム - ダーウィン	10	オーストラリア	P 26
2022.4.8	ル・ラベルーズ	ダーウィン - ブルーム	10	オーストラリア	P 26
2022.4.18	ル・ラベルーズ	ブルーム - ダーウィン	10	オーストラリア	P 26
2022.4.28	ル・ラベルーズ	ダーウィン - ブルーム	10	オーストラリア	P 26
2022.4.30	ル・コマンダン・シャルコー	レイキャビク - レイキャビク	10	北極	O300422
2022.5.10	ル・コマンダン・シャルコー	レイキャビク - レイキャビク	12	北極	P 72
2022.5.18	ル・ラベルーズ	ダーウィン - ブルーム	10	オーストラリア	P 26
2022.5.22	ル・コマンダン・シャルコー	レイキャビク - レイキャビク	12	北極	P 72
2022.5.24	ル・ソレアル	大阪 - 基隆	7	沖縄・南西諸島	P 44
2022.5.28	ル・ラベルーズ	ブルーム - ダーウィン	10	オーストラリア	P 26
2022.5.31	ル・ソレアル	基隆 - 那覇	7	沖縄・南西諸島	P 45
2022.6.1	ル・ボレアル	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	7	北極	P 60
2022.6.3	ル・コマンダン・シャルコー	レイキャビク - ロングイェールピーン	12	北極	P 73
2022.6.3	ロストラル	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	7	北極	P 60
2022.6.7	ル・ラベルーズ	ダーウィン - ブルーム	10	オーストラリア	P 26
2022.6.8	ル・ボレアル	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	7	北極	P 60
2022.6.10	ロストラル	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	7	北極	P 60
2022.6.15	ル・コマンダン・シャルコー	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	8	北極	P 74
2022.6.17	ル・ソレアル	ダーウィン - ブルーム	10	オーストラリア	P 26
2022.6.17	ロストラル	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	7	北極	P 60
2022.6.22	ル・ボレアル	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	7	北極	P 60
2022.6.24	ロストラル	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	7	北極	P 60
2022.6.27	ル・ラベルーズ	ダーウィン - ブルーム	10	オーストラリア	P 26
2022.6.27	ル・ソレアル	ブルーム - ダーウィン	10	オーストラリア	P 26
2022.6.28	ル・コマンダン・シャルコー	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	10	北極	P 71
2022.6.29	ル・ボレアル	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	7	北極	P 60
2022.7.6	ル・ボレアル	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	7	北極	P 60
2022.7.7	ル・ソレアル	ダーウィン - ブルーム	10	オーストラリア	P 26
2022.7.8	ル・コマンダン・シャルコー	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	15	北極	P 70
2022.7.13	ル・ボレアル	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	7	北極	P 60
2022.7.14	ロストラル	レイキャビク - カンゲルルスアーク	13	北極	A140722
2022.7.17	ル・ラベルーズ	ダーウィン - ブルーム	10	オーストラリア	P 26
2022.7.17	ル・ソレアル	ブルーム - ダーウィン	10	オーストラリア	P 26
2022.7.20	ル・ボレアル	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	7	北極	P 60
2022.7.23	ル・コマンダン・シャルコー	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	15	北極	P 70
2022.7.27	ル・ラベルーズ	ブルーム - ダーウィン	10	オーストラリア	P 26
2022.7.27	ル・ソレアル	ダーウィン - ブルーム	10	オーストラリア	P 26
2022.7.27	ロストラル	カンゲルルスアーク - カンゲルルスアーク	13	北極	P 61
2022.7.27	ル・ボレアル	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	7	北極	P 60
2022.8.3	ル・ボレアル	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	7	北極	P 60
2022.8.6	ル・ラベルーズ	ブルーム - ダーウィン	10	オーストラリア	P 26

出発日	使用客船	旅程	日数	行き先	
2022.8.6	ル・ソレアル	ブルーム - ダーウィン	10	オーストラリア	P 26
2022.8.7	ル・コマンダン・シャルコー	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	15	北極	P 70
2022.8.9	ロストラル	カンゲルルスアーク - カンゲルルスアーク	16	北極	A090822
2022.8.10	ル・ボレアル	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	7	北極	P 60
2022.8.16	ル・ソレアル	ダーウィン - ブルーム	10	オーストラリア	P 26
2022.8.17	ル・ボレアル	ロングイェールピーン - トロムソ	10	北極	B170822
2022.8.22	ル・コマンダン・シャルコー	ロングイェールピーン - レイキャビク	15	北極	P 70
2022.8.26	ル・ラベルーズ	ダーウィン - ブルーム	10	オーストラリア	P 26
2022.8.26	ル・ソレアル	ブルーム - ダーウィン	10	オーストラリア	P 26
2022.8.27	ル・ボレアル	トロムソ - ノーム	24	北極	P 65
2022.9.5	ル・ラベルーズ	ブルーム - ダーウィン	14	オーストラリア	P 28
2022.9.5	ル・ソレアル	ダーウィン - バリ	10	オーストラリア	P 26
2022.9.7	ル・コマンダン・シャルコー	レイキャビク - ノーム	24	北極	O070922
2022.9.15	ル・ソレアル	ブルーム - ダーウィン	10	オーストラリア	P 26
2022.9.20	ル・ボレアル	ノーム - ノーム	12	北極	P 62
2022.9.25	ル・ソレアル	ダーウィン - ケアンズ	16	メラネシア & 南太平洋	P 38
2022.10.11	ル・ソレアル	ケアンズ - ホニアラ	10	メラネシア & 南太平洋	P 39
2022.10.21	ル・ソレアル	ホニアラ - ケアンズ	11	メラネシア & 南太平洋	S211022
2022.11.1	ル・ソレアル	ケアンズ - ホニアラ	10	メラネシア & 南太平洋	P 39
2022.11.5	ロストラル	ウシュアエア - ウシュアエア	15	南極	P 55
2022.11.7	ル・ボレアル	ウシュアエア - ウシュアエア	15	南極	P 55
2022.11.11	ル・ソレアル	ホニアラ - ヌメア	11	メラネシア & 南太平洋	P 40
2022.11.16	ル・リリアル	ウシュアエア - ウシュアエア	15	南極	P 55
2022.11.20	ロストラル	ウシュアエア - ウシュアエア	10	南極	P 54
2022.11.22	ル・ボレアル	ウシュアエア - ウシュアエア	15	南極	P 55
2022.11.22	ル・ソレアル	ヌメア - オークランド	10	メラネシア & 南太平洋	P 41
2022.12.7	ル・ラベルーズ	ケアンズ - シドニー	9	オーストラリア	P 29
2022.12.11	ロストラル	ウシュアエア - ウシュアエア	10	南極	P 54
2022.12.14	ル・ソレアル	ダニーデン - ダニーデン	14	ニュージーランド	P 34
2022.12.16	ル・ラベルーズ	シドニー - ホバート	7	オーストラリア	P 30
2022.12.17	ル・ボレアル	ウシュアエア - ウシュアエア	10	南極	P 54
2022.12.23	ル・ラベルーズ	ホバート - ホバート	10	オーストラリア	P 31
2022.12.27	ル・ボレアル	ウシュアエア - ウシュアエア	10	南極	P 54
2022.12.28	ル・ソレアル	ダニーデン - ダニーデン	14	ニュージーランド	P 34
2023.1.6	ル・ボレアル	ウシュアエア - ウシュアエア	10	南極	P 54
2023.1.10	ロストラル	ウシュアエア - ウシュアエア	10	南極	P 54
2023.1.11	ロストラル	ウシュアエア - ウシュアエア	10	南極	P 54
2023.1.11	ル・ジャック カルティエ	マヘ島 - マヘ島	8	インド洋	P 50
2023.1.16	ル・ボレアル	ウシュアエア - ウシュアエア	10	南極	P 54
2023.1.19	ル・ジャック カルティエ	マヘ島 - マヘ島	12	インド洋	P 51
2023.1.26	ル・ボレアル	ウシュアエア - ウシュアエア	10	南極	P 54
2023.1.29	ロストラル	ウシュアエア - ウシュアエア	15	南極	P 55

Luxury Expeditions Calendar
**年間カレンダー
 2022 & 2023**

出発日	使用客船	旅程	日数	行き先	
2023.1.31	ル・ジャック カルティエ	マヘ島 - マヘ島	8	インド洋	P 50
2023.2.1	ル・リリアル	ウシュアエア - ウシュアエア	10	南極	P 54
2023.2.5	ル・ボレアル	ウシュアエア - ウシュアエア	10	南極	P 54
2023.2.8	ル・ジャック カルティエ	マヘ島 - マヘ島	12	インド洋	P 51
2023.2.11	ル・リリアル	ウシュアエア - ウシュアエア	10	南極	P 54
2023.2.13	ル・シャンブラン	マヘ島 - マヘ島	8	インド洋	P 50
2023.2.20	ル・ジャック カルティエ	マヘ島 - マヘ島	8	インド洋	P 50
2023.2.21	ル・リリアル	ウシュアエア - ウシュアエア	10	南極	P 54
2023.2.21	ル・シャンブラン	マヘ島 - ポートルイス	15	インド洋	P 48
2023.2.23	ロストラル	ウシュアエア - ウシュアエア	10	南極	P 54
2023.2.28	ル・ジャック カルティエ	ザンジバル - マヘ島	12	インド洋	P 49
2023.3.5	ロストラル	ウシュアエア - モンテビデオ	15	南極	P 56
2023.3.8	ル・シャンブラン	ポートルイス - マヘ島	15	インド洋	P 48
2023.3.10	ル・ブーゲンビル	マヘ島 - ポートルイス	15	インド洋	P 48
2023.3.12	ル・ジャック カルティエ	ザンジバル - マヘ島	12	インド洋	P 49
2023.3.15	ル・リリアル	ウシュアエア - ブエノスアイレス	14	南極	P 57
2023.3.23	ル・シャンブラン	マヘ島 - マヘ島	12	インド洋	P 51
2023.3.24	ル・ジャック カルティエ	マヘ島 - マヘ島	12	インド洋	P 51
2023.3.25	ル・ブーゲンビル	ポートルイス - マヘ島	15	インド洋	P 48
2023.5.17	ロストラル	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	7	北極	P 60
2023.5.24	ロストラル	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	7	北極	P 60
2023.5.30	ル・ボレアル	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	7	北極	P 60
2023.5.31	ロストラル	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	7	北極	P 60
2023.6.6	ル・ボレアル	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	7	北極	P 60
2023.6.7	ロストラル	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	7	北極	P 60
2023.6.13	ル・ボレアル	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	7	北極	P 60
2023.6.14	ロストラル	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	7	北極	P 60
2023.6.21	ロストラル	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	7	北極	P 60
2023.6.27	ル・ボレアル	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	7	北極	P 60
2023.6.28	ロストラル	ロングイェールピーン - カンゲルルスアーク	14	北極	AU280623
2023.7.4	ル・ボレアル	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	7	北極	AU280623
2023.7.12	ロストラル	カンゲルルスアーク - カンゲルルスアーク	13	北極	P 61
2023.7.25	ロストラル	カンゲルルスアーク - カンゲルルスアーク	16	北極	AU250723
2023.7.31	ル・ボレアル	レイキャビク - ロングイェールピーン	12	北極	BO310723
2023.8.10	ロストラル	カンゲルルスアーク - トロムソ	15	北極	P 64
2023.8.12	ル・ボレアル	ロングイェールピーン - ロングイェールピーン	7	北極	P 60
2023.8.19	ル・ボレアル	ロングイェールピーン - トロムソ	9	北極	BO190823
2023.8.28	ル・ボレアル	トロムソ - ノーム	24	北極	P 65
2023.9.18	ロストラル	ノーム - パンクーバー	14	北極	P 63
2023.9.21	ル・ボレアル	ノーム - ノーム	12	北極	P 62

*Above water,
 below water and on shore...*

海の上、海の中、
 そして陸地で



*...discover
unmarked
wonders.*

知られざる不思議を
発見する旅

Australia オーストラリア

- 1万2千年以上前に描かれたワンジナの洞窟壁画やグウィオングウィオンの岩絵を鑑賞します。
- グレートバリアリーフの壮大なサンゴ礁が広がる海でシュノーケリングをお楽しみください。
- エクスペディション・チームと共にマリア島にある野生動物保護区や流刑地を探索します。
- キング島のグルメ食材や世界的に評価の高いティマーパレーのワインをご堪能ください。
- キング・ジョージ・リバー渓谷をゾディアック・ボートで訪れ、キンバリーで最も高い場所にあるツイン・フォールズを訪問します。
- タルボット・ベイにある水平の滝やモンゴメリーリーフで地球上で最大の潮汐現象を体験します。
- タスマン半島では、オットセイヤリトルペンギンとの出会いが待っています。
- ク・リンガイ・チェイス国立公園ではハチミツ色の崖沿いにゾディアック・ボートを走らせ、ホークスベリー川を堪能します。

※運航スケジュールや上陸、野生動物の観察などは当日の天候や海の状態により変更となる場合がございます。



水平の滝でのゾディアック・ボートツアー(キンバリー)



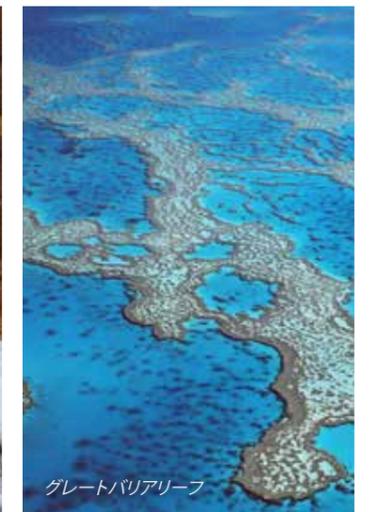
タマール渓谷(タスマニア)



ホークスベリー川の眺め(ニューサウスウェールズ州)



ラフト・ポイントのワンジナの洞窟壁画(キンバリー)



グレートバリアリーフ

Australia's Iconic Kimberley
**オーストラリア象徴の地
 キンバリー地域**

ダーウィン（北オーストラリア）発 ▶
 ブルーム（西オーストラリア）着

10泊11日
 ル・ラペルーズ：
 2022年3月19日、4月8日、4月28日、5月18日、6月7日、6月27日
 7月17日、8月6日、8月26日
 ル・ソレアル：
 2022年7月7日、7月27日、8月16日、9月5日
 大人お一人様クルーズ代金：6,740€～



キングジョージ川ツインフォールズでのソディアック・ボートツアー



ザトウクジラ



タルボット湾にある水平の滝

オーストラリアのキンバリー海岸の、荒々しく広大な風景を堪能するラグジュアリー・エクスペディション。キンバリー地域で最も美しい場所のひとつであるハンター川では、イリエワニが生息する野生のマンゴローブ林や、多くの種類の鳥類を見ることができます。キングジョージ川では、西オーストラリア州で最も高い滝であるツインフォールズを訪れ、コリアー湾では広大なラグーンとサンゴ礁が広がるモンゴメリー・リーフを堪能します。ジャー島では1万2千年前のグイオングウィオンの岩絵を鑑賞します。運がよければ船のデッキやソディアック・ボートからザトウクジラの大移動と出くわすことも。レースピード諸島では、これまでの「バードウォッチング」という概念が覆される体験になるかもしれません。

ウインダムでは以下のオプション・エクスカージョン（無料）の中から一つをお選びください！* 適用条件あり

- カナラにあるアーガイル湖とオード川を航行し、川辺のキャンプでピュウフェ式の昼食をお楽しみください。
- カナラからセスナ機に乗って、世界最後の秘境「バングル・バングル山塊」の遊覧飛行へご案内します。
- 経験豊富なレンジャーによるエル・クレストロのガイドツアーへ。エマ峡谷、ゼベディ温泉、昼食、チェンバレン川クルーズもご案内します。

※ダーウィンからブルームへの旅程でのみ利用可能。*適用条件あり

ブルーム（西オーストラリア州）発 ▶
 ダーウィン（北オーストラリア州）着

10泊11日
 ル・ラペルーズ：
 2022年3月29日、4月18日、5月28日、7月27日
 ル・ソレアル：
 2022年6月27日、7月17日、8月6日、8月26日、9月15日
 大人お一人様クルーズ代金：7,970€～



先住民族から世界最古の生活文化について学ぶ

ハイライト

- イギリス人動物学者デビッド・アッテンボロー卿によって「地球上で最も偉大な自然現象」のひとつとされた「水平の滝」を間近に体験いただけます。
- ドリームタイムの物語を聴きながら、グイオングウィオンの岩絵とワンジナの洞窟壁画を鑑賞します。
- 西オーストラリア州で最も高い滝であるツインフォールズを含むキングジョージ川をソディアック・ボートツアーで探索します。
- オーストラリア最大の沿岸サンゴ礁であるモンゴメリーリーフでの大自然のショーを間近でご覧ください。
- 7月から9月は、何千頭ものザトウクジラが南氷洋からキンバリーの温暖な繁殖地にやってくる季節です。双眼鏡は必須です！
- ハンター川からヘリコプターに乗って、ミッチェルの滝へご案内します。*追加料金が発生します。



エクスペディション・チームと着岸上陸へ



2022年9月5日と15日に出発するクルーズは、
 ナショナルジオグラフィックとのコラボレーション企画です。

Wild Landscapes of The Kimberley & Southeast Asia

キンバリー地域と 東南アジアの野生の風景

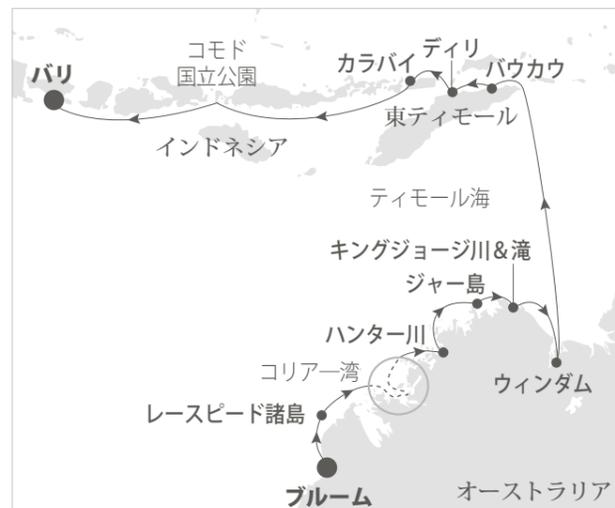
ブルーム (オーストラリア西部) 発 ▶ ベノア (インドネシア・バリ島) 着
14泊15日

ル・ラペルーズ: 2022年9月5日

大人お一人様クルーズ代金: 10,900€~



キングジョージ川でのゾディアック・ボートツアー



ハイライト

- 長く愛されてきたエクスペディションひとつ「オーストラリアを象徴する地:キンバリー地域」の航路 (P26~27参照) に加え、インドネシアをめぐる。
- コモドラゴンが棲む太古からの自然の島へ。世界遺産コモド国立公園を探索します。
- 東ティモールでは新しい2つの港、パウカウと首都ディリへ寄港します。
- 世界遺産コモド国立公園ではシュノーケリングをお楽しみいただけます。



コモド・オオトカゲ

キンバリー地域の荒々しく壮大な風景と東ティモールやインドネシアの崇高な島々を結ぶ、新しい探検の誘惑に身を委ねてみませんか。アオウミガメの重要な繁殖地であるレースピード諸島自然保護区に立ち寄り、カツオドリ、バラ科のベニアジサシ、コシグロペリカンのコロニーを観察します。コリアー湾では、モンゴメリー・リーフの水が滝のように流れ落ちるユニークな潮汐現象を目の当たりに。グワイオングウィオンの岩絵があるジャー島に寄港した後は、エクスペディション・チームと一緒にゾディアック・ボートで壮大なキングジョージ川をクルージングします。その後、船は東ティモールへ。首都ディリに寄港した後、インドネシアの群島に向かいます。アロール諸島のカラバイでは地元アローレスの人々を訪ね、彼らの伝統的な生活様式を紹介してもらいます。最後は「神々の島」と呼ばれ、魅惑的な魅力とリラックスした雰囲気を持つバリ島を訪れます。

ウィンダムでは、以下の無料オプション・エクスカーションの中から一つをお選びください! * 適用条件あり

- カナナラ近郊のアーガイル湖とオード川を航行し、川辺のキャンプでビュッフェ式の昼食をお楽しみください。
- カナナラからセスナ機に乗って、世界最後の秘境「バングル・バングル山塊」の遊覧飛行へご案内します。
- 経験豊富なレンジャーによるエル・クエストロのガイドツアーへ。エマ峡谷、ゼベディ温泉、昼食、チェンパレン川クルーズもご案内します。

Exploring Australia's East Coast Islands

オーストラリア東海岸の 島々をめぐる

ケアンズ (クイーンズランド州) 発 ▶ シドニー (ニューサウスウェールズ州) 着
9泊10日

ル・ラペルーズ: 2022年12月7日

大人お一人様クルーズ代金: 4,950€~



オーストラリア東海岸の魅力的なラグーンとサンゴ礁の待つ場所へ。船は、グレートバリアリーフの玄関口であるケアンズからコーラルシー諸島のウィリス島に向けて出港します。ウィリス島には30以上のサンゴ礁があり、世界最大の海洋公園のひとつコーラルシーマリンパークを有します。1921年にはクイーンズランド州にサイクロンの早期警報を出すための気象監視ステーションも設立されました。ウィットサンデー諸島の北東約50kmにあるハーディー・リーフではグレートバリアリーフが誇る海洋生物の多様性が見られます。エクスペディション・チームと一緒に探索しながら、ときにはパーシー島の美しい海を楽しみ、ときにはグレートバリアリーフ最南端に位置する「レディ・マスグレイベ島」に美しいサンゴ礁を見つけにいきましょう。ガイド付きのエクスカーションでは、保全された環境下で生息する動植物を見ることができます。その後続く目的地、ニューサウスウェールズ州のホークスベリー川流域は色鮮やかな崖や歴史的な町並みが有名です。



アオウミガメ

ハイライト

- エクスペディション・チームと共にコーラルシー諸島のウィリス島へ。1921年に設立された気象監視ステーションへもご案内します。
- ハーディー・リーフのボンツーン「リーフワールド」を訪れ、世界最高レベルに美しい海でのシュノーケリングとダイビングをお楽しみください。
- パーシー島のウェスト・ベイに上陸し、様々なウォーキング・トレイルを散策しながら、島固有や外来の野生動物を観察します。
- アオウミガメやホワイトチップリーフシャーク、レオパードシャークの生息地であるレディ・マスグレイベ島での探検とシュノーケリングをお楽しみください。
- グレートバリアリーフの驚くべき生物多様性と自然遺産について、自然学者によるレクチャーを行います。
- クリンガイチェイス国立公園の美しい景色を眺め、エクスペディション・チームが操縦するゾディアック・ボートでゆくホークスベリー川でのひとときをお楽しみください。

Treasures of the South Australian coast & Tasmania

南オーストラリアの海岸と タスマニアの宝物

シドニー（ニューサウスウェールズ州）発 ▶
ホバート（タスマニア島）着

7泊8日

ル・ラペルーズ: 2022年12月16日

大人お一人様クルーズ代金: 3,670€〜



シドニーからホバートまでの8日間の旅は、オーストラリア南東部沿岸に点在する大自然と文化的魅力を組み合わせた新しいツアーです。シドニーを出航した船は、ターコイズブルーの海に囲まれた白砂のビーチで有名なジャービス・ベイへと向かいます。生物多様性に富んだダイナミックで創造的なこの地域は、多くの鳥類の保護区としても有名です。ニューサウスウェールズ州の南海岸にあるエデンは、ホエールウォッチングの名所であり、国立公園や風光明媚な海岸線をお楽しみいただけます。タスマニア島では、スワンシーの食材を使ったお料理と受賞歴のあるワインをご堪能ください。マリア島ではエクスペディション・チームと共に歴史探訪や野生動物を探しに出かけましょう。この地に生息するロウバシガン、ウォンバット、ヤブワラビー、オオカンガルーなどと出会うかもしれません。



マリア島のウォンバット



ラウル岬(タスマン半島)

ハイライト

- ジャービス・ベイをゾディアック・ボートで探索をして上陸します。ここでは野生生物を含む美しい自然のアトラクションに囲まれています。
- エデンが持つ長い捕鯨の歴史と、そのクジラ漁を手伝っていたシャチ『オールド・トム』のストーリーを知る旅へでかけましょう。
- タスマニア州スワンシーの歴史的名所と特産品をめぐります。
- 世界遺産「オーストラリアの囚人遺跡群」のひとつ、マリア島にあるダーリントン保護観察所を訪問します。
- マリア島にある美しく大理石模様の色づいたペインテッドクリフや、オーストラリアで最大規模を誇るラウル岬の海食崖の雄大な自然に触れてみましょう。
- ゾディアック・ボートでのタスマン半島のクルージングでは、オットセイやイルカ、リトルペンギンなどオーストラリアに生息する動物たちと出会いも楽しみです。

Food, Wine & Yacht Race in Tasmania

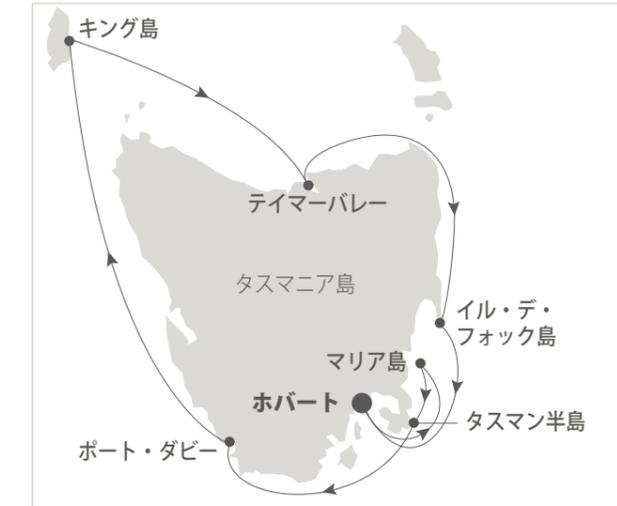
タスマニア島の 食・ワイン・ヨットレース

ホバート（タスマニア島）発着

10泊11日

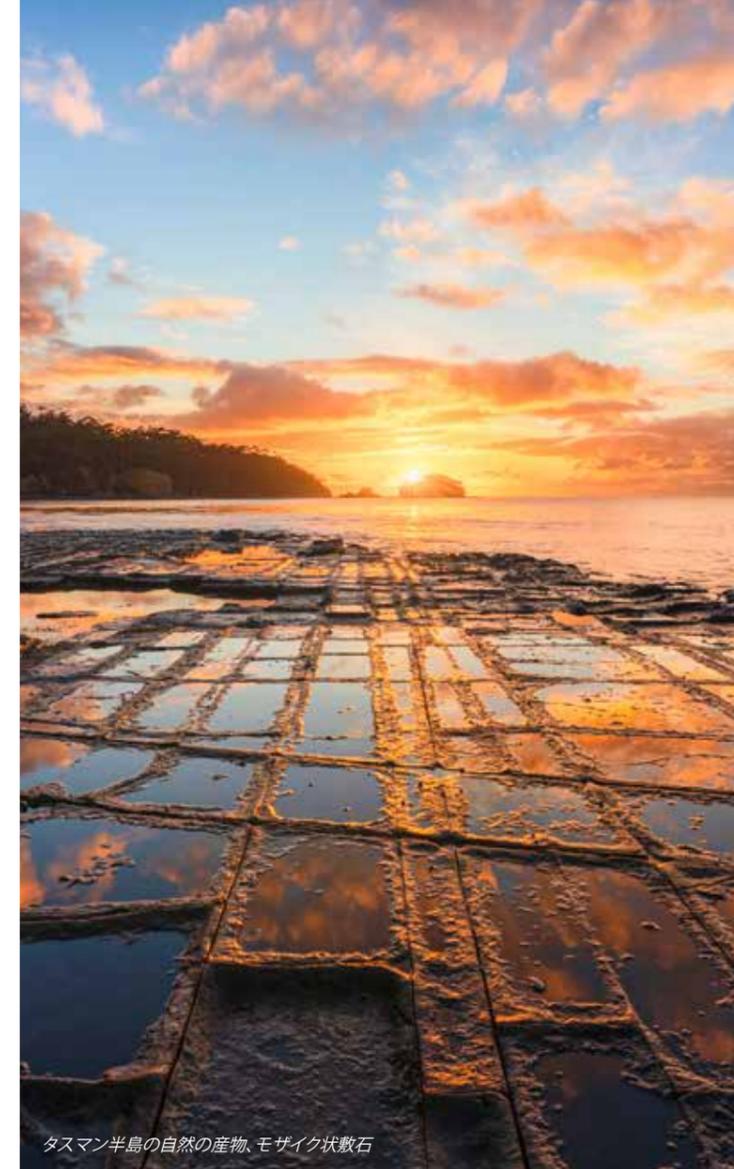
ル・ラペルーズ: 2022年12月23日

大人お一人様クルーズ代金: 7,250€〜



年末恒例行事シドニーホバートヨットレースを観戦し、大晦日から新年のお祝いをオーストラリアならではの賑わいで堪能しましょう。タスマニア島の自然やグルメ、受賞歴のあるワインなどの魅力をご堪能いただけます。文化の中心地であり、オーストラリアで2番目に古い都市でもあるホバートからマリア島に航海をして、野生動物保護区を訪れます。捕鯨や植民地時代の深い歴史を学ぶこともできます。次に向かうタスマン半島では、起伏の多い海岸線の原生地域をゾディアック・ボートでクルージングをしながらコガタペンギンやオーストラリアオットセイなどこの地域に生息する様々な海洋生物を探していきましょう。

世界遺産にも登録されているタスマニア島の、太古の自然が残る驚異と素晴らしい景色を堪能した後、船はキング島に到着します。ここには逸話やユニークな文化、そして世界のトップシェフが探し求めるグルメ食材が揃っています。タスマニアの中でも群を抜くワインの産地として有名なテイマーバレーでは、世界トップ10に入るワイン・ルートに沿って進み、この地域の高級ワインのテイस्टィングを。オーストラリアオットセイの生息地であり、コガタペンギン、ハシボソミズナギドリ、ヒメクジラドリなどの海鳥も繁殖しているので、カメラがお好きな方はじっくりと撮影をしていただけます。最後にホバートに戻り、シドニーホバートヨットレースをゴール地点で観戦。大晦日の夜と初日の出をホバートで迎える船旅です。



タスマン半島の自然の産物、モザイク状敷石

ハイライト

- 世界遺産であるタスマニア原生地域の最奥ポート・ダビーと東海岸に浮かぶマリア島を訪ねます。
- キング島の農産物とテイマーバレーの受賞歴のある最高級ワインをご堪能いただけます。
- 年末年始恒例イベント、オーストラリアで最大のグルメの祭典『テイスト・オブ・タスマニア』に参加して美食とワインを楽しめます。
- イル・デ・フォック島で野生のオーストラリアオットセイを観察します。
- 豊かな鉱物資源を持ち、海とともに暮らしてきたタスマニア州北西部の歴史探訪に出かけます。
- 新年へのカウントダウンをホバートの港で花火とともに迎えます。

New Zealand ニュージーランド

- 地球上で最も手つかずの自然環境が残され「南極海のガラパゴス」とも呼ばれるニュージーランドの亜南極諸島を、専門知識溢れるエクスペディションチームと一緒に訪れます。
- ニュージーランドのフィヨルド「ダウトフルサウンド」「ダスキーサウンド」「ミルフォードサウンド」のそびえ立つ崖や、息を呑むような迫力で流れ落ちる滝など、ゾディアック・ボートに乗り込み冒険の旅へ出かけます。
- ハシブトペンギン、キンメペンギン、キングペンギン、ロイヤルペンギン、キマユペンギン、ジェンツーペンギン、イワトビペンギン、シュレーターペンギン——ニュージーランドの亜南極諸島では、愛らしいペンギンたちと出会うことができます。
- ニュージーランドの中でも最南部にあるキャンベル島には、島の厳しい気象条件に適応するために巨大化したメガハープが生息しています。大きな葉と色鮮やかな花を持つこの多年生植物について、その進化の過程を学びます。

※運航スケジュールや特定場所への上陸、野生動物の観察などは当日の天候や海の状態により変更となる場合がございます。



エンダービー島への上陸



ニュージーランド・アシカ (キャンベル島)



ルンタニア湾でのゾディアック・ボートツアー (マッコリー島)



ゾディアック・ボートでミルフォードサウンドを巡る



ロイヤルペンギン (マッコリー島)

Expedition to New Zealand's
Subantarctic Islands

ニュージーランド 亜南極諸島への冒険

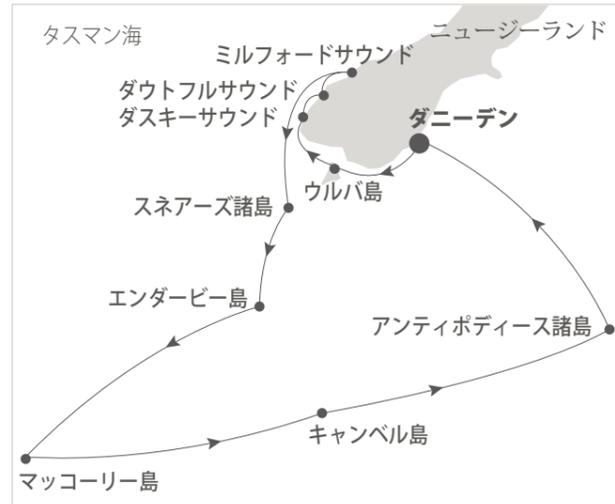
ダニーデン (ニュージーランド) 発着

14泊15日

ル・ラペルーズ:

2022年12月14日、12月28日

大人お一人様クルーズ代金: 10,570€~



ダスキーサウンド(ピッカーズギル港)のル・ソレアル



好奇心旺盛なアシカたち



パーサピランス・ハーバー(キャンベル島)



エンダービー島付近でのゾディアック・ボートツアー

ニュージーランドのフィヨルドランドと亜南極諸島の手つかずの自然の美しさをたっぷり味わう、他にはないユニークなクルーズです。ダニーデンを出発し、バターソン入り江最初の寄港地であるウルバ島へ。ウルバ島には世界でも珍しい鳥類が生息していて、独自の自然進化を遂げて生息しています。

世界自然遺産テ・ワヒポナムの一部であるフィヨルドランド国立公園の「ダウトフルサウンド」「ダスキーサウンド」「ミルフォードサウンド」を訪れます。キマユペンギンを発見したり、壮大な滝を間近に見たりゾディアック・ボートツアーで雄大な大自然をより身近にお楽しみください。「南極海のガラパゴス」と称されるニュージーランドの亜南極諸島は、地球上で最も保護されている手つかずの自然が残された環境のひとつです。ニュージーランドでもごく限られた人だけしかアクセスできない特別な場所であるスネアーズ諸島は、約3万5千個ものハシブペンギンと約1千個ものニュージーランド・オットセイのコロニーがある野生動物の楽園。エンダービー島からアンティポデイス諸島まで、色とりどりのメガハーブの草原、そびえ立つ崖、そして圧倒的なバードウォッチング、砂浜をパトロールする無数のペンギンなど、息を呑むような出会いの数々が皆様をお待ちしております。



ハシブペンギン

ハイライト

- 捕食動物のいない聖域であるウルバ島 (マオリ族の名前ではテワラワラ島) をエクスペディション・チームによるガイド付きで散策します。
- 世界遺産であるテ・ワヒポナムとその雄大な景色「ダウトフルサウンド」「ダスキーサウンド」「ミルフォードサウンド」を遊覧し、スネア諸島、オークランド諸島、キャンベル諸島などの亜南極諸島をめぐります。
- ゾディアック・ボートツアーにて数々のフィヨルドをめぐります。運が良ければ希少なキマユペンギンとの出会いもあるでしょう。
- オーストラリアオットセイ・ナンキョクオットセイ・ニュージーランドアシカ・ミナミゾウアザラシのコロニーを観察します。
- ゾディアック・ボートで、イギリス諸島全体よりも多くの海鳥が営巣するスネアーズ諸島を探索します。
- ロイヤルペンギンとキングペンギンの生息地であるマッコリー島 (オーストラリア) を探索します。



シロアホウドリの求愛行動(キャンベル島)

NATIONAL GEOGRAPHIC | PONANT
EXPEDITIONS

2022年12月14日に発出するクルーズは、
ナショナルジオグラフィックとのコラボレーション企画です。

Melanesia & South Pacific メラネシア & 南太平洋

- パプアニューギニアの様々な文化や伝統に触れ、先祖伝来の踊りや風習、職人の技を体験します。
- ロイヤリティ諸島（ニューカレドニア）で、古代から存在するサンゴ礁、手つかずの海、穏やかなラグーンなどをご堪能ください。
- 「海のアマゾン」と呼ばれるコーラル・トライアングル。チェンデラワシ湾ではジンベイザメと泳ぐシュノーケリングをお楽しみください。
※天候や海の状態によってはできない場合がございます
- エスピリトゥサント島（バヌアツ）では、ターコイズブルーの海と青々とした植物に囲まれた素晴らしい景色が待っています。
- 継続的に噴火を続けるバヌアツの象徴・ヤスール山（タンナ島）。世界で最も火口に近づく活火山を訪れます。
- バヌアツの女性に伝わる伝統的な音楽「ウォーター・ミュージック」の演奏をお楽しみください。
- ニューカレドニアの先住民族カナックの人びとの文化をご体験ください。

※運航スケジュールや特定場所への上陸、野生動物の観察などは当日の天候や海の状態により変更となる場合がございます。



ウォーター・ミュージック・パフォーマンス（バヌアツ）



アウトリガーカヌー（トウフィ・フィヨルド）



トロブリアド諸島の少年



カナック・ダンサーたち（ニューカレドニア）



チェンデラワシ湾のジンベイザメ

New Guinea Odyssey

ニューギニア長い冒険の旅

ダーウィン (オーストラリア) 発 ▶ ケアンズ (オーストラリア) 着

16泊17日

ル・ソレアル: 2022年9月25日

大人お一人様クルーズ代金: 9,480€~



トゥフィの伝統的なパフォーマー



香辛料の生産地として知られてきたバンダ・ネイラ島 (インドネシア) を訪れ、世界で最も生物多様性に富んだコーラル・トライアングルの海でシュノーケリングを堪能します。トリトン湾では、西パプアの太古の熱帯雨林や海に向かって落ちていく壮大なキチキチの滝をゾディアック・ボートからご覧ください。チェンデラワシ湾では、ジンベイザメと一緒に泳ぐというユニークな体験も。パプアニューギニアでは、先住民族の人びととの豊かな出会いが冒険をさらに盛り上げ、セビック川の河口に位置するコバル村では文化的なパフォーマンスに迎えられ、住民たちの伝統を学ぶことができます。トゥフィには火山活動によって形成された深い入り江があり、美しいこの地域の魅力にふれることができるでしょう。170もの異なる言語が話されているマダンでは、様々な文化的パフォーマンスに心躍らせる時間が待っています。アロタウでは宣教師や真珠漁師たちが積み上げてきた島の歴史や第二次世界大戦中に連合軍が日本軍の進撃を阻止するために果たした役割などについて学びます。

ハイライト

- 経験豊富な自然学者と現地を知り尽くす専門家チームとともに、パプアニューギニアの多様な文化を様々な出会いを通じて学んでいきます。
- コーラル・トライアングルのチェンデラワシ湾では世界最大の魚・ジンベイザメと泳ぐ貴重な体験が待っています。
※海の状況や天候により変更となります。
- トゥフィからアウトリガーカヌーに乗ってネルソン岬のフィヨルドをめぐる旅へ出かけます。
- 透き通ったラグーンの美しさと独自の文化を持つタミ島を訪問します。
- 山岳地帯で有名なアサロ族の「マッドメン」。全身を泥で塗り、重い泥のお面をかぶり踊る伝統的な儀式を見学します。
- ポルトガル、オランダ、イギリスの影響が混ざりあった「スパイス・アイランド (香辛料諸島)」モルッカ諸島の魅力探求へ出かけます。
- 経験豊富な船上インストラクターと潜るスキューバダイビング (PADIアドバンスド・オープン・ウォーター・ダイバーまたは同等の資格を所有している方のみ参加可能です。)*追加料金が発生します。

Ancient Cultures of Papua New Guinea

パプアニューギニアに伝わる伝統文化

ケアンズ (オーストラリア) 発 ▶ ホニアラ (ソロモン諸島) 着

10泊11日

ル・ソレアル:

2022年10月11日、11月1日

大人お一人様クルーズ代金: 5,560€~



ケアンズを出航して、パプアニューギニアのミルンバイ州にあるアロタウに寄港。第二次世界大戦でこの地が果たした役割や真珠商・鉱山労働者の暮らし、宣教師の影響など、この地域の歴史を学びます。火山活動が活発なファーガソン島では野外温泉・デイデイ地熱温泉までエクスペディション・チームと散策し、ドブ島では伝道所を設置したオーストラリア・メソジスト教会について学びます。トロブリアンド諸島のキタバ島では、色鮮やかな民族衣装に身を包んだ村人たちによるエネルギー溢る伝統文化のパフォーマンスをお客様を歓迎します。また伝統的な交易システムである「クラ交易」における島の役割や村人の生活についても学びましょう。ソロモン諸島のギゾ島やンジャリ島は、ダイビング以外にもSUPやカヤック、シュノーケリングを楽しむのに最高です。ロデリック湾では白砂のビーチとサンゴ礁が広がる素晴らしい景色を堪能し、マラタイ島では伝統的なパンパイプ音楽や神聖なダンスなど伝統と、今に伝わる暮らしを体験していただきます。最後はソロモン諸島の首都、ガダルカナル島のホニアラを訪れます。



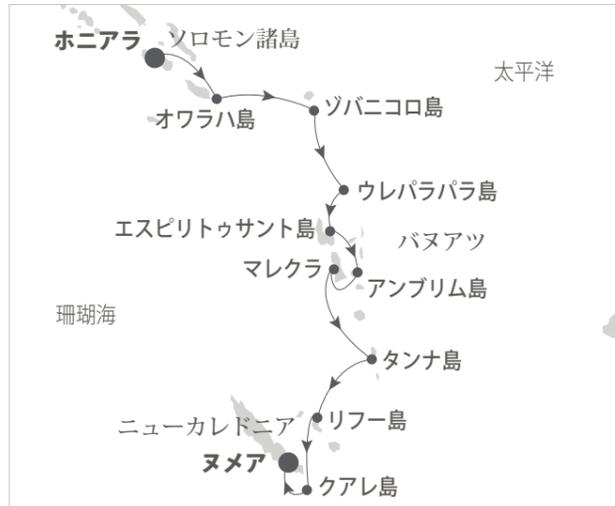
トロブリアンド島の伝統芸能

ハイライト

- パプアニューギニアとソロモン諸島の歴史や文化、そして驚くべき多様性をエクスペディション・チームから学びます。
- エクスペディション・チームと共にファーガソン島の豊かな自然の中をガイド付きで散策し、野外温泉・デイデイ地熱温泉を訪れます。
- 「愛の島」とも称されるトロブリアンド諸島では伝統ダンスでの歓迎式が予定されています。
- ロデリック湾にある沈没船「ワールド・ディスカバー号」周辺でシュノーケリングをお楽しみください。
- ミルンバイ州のアロタウでは第二次世界大戦中にパプアニューギニアが果たした役割を学びます。
- 経験豊富な船上インストラクターと潜るスキューバダイビング (PADIアドバンスド・オープン・ウォーター・ダイバーまたは同等の資格を所有している方のみ参加可能です。)*追加料金が発生します。

Revealing the Mysteries of Melanesia メラネシアの謎を解き明かす

ホニアラ (ソロモン諸島) 発 ▶ ニメア (ニューカレドニア) 着
11泊12日
ル・ソレアル: 2022年11月11日
大人お一人様クルーズ代金: 7,430€~



メラネシアで先祖代々受け継がれてきた部族の暮らしの真髄にふれ、楽園のような風景へと旅します。最初の寄港地はソロモン諸島。この地域が第二次世界大戦でいかに重要な役割を果たしたかを知り、ポートメリーに停泊します。エクスペディション・チームの案内で村に入り、村民による伝統的なパフォーマンスを鑑賞します。83の島々で構成された「世界で最も幸せな国」と称されるバヌアツは、活火山、ヤシの木に囲まれたビーチ、熱帯雨林など、様々な表情を見せる魅惑の土地です。エスピリトゥサント島では、シュノーケリングやダイビングを楽しむことができます。ウレパラパラ、アンブリム、マレクラの各島では、伝統的な歓迎の儀式と踊り、そして幻想的な火山の風景を目にすることでしょう。タンナ島では、世界で最もアクセスしやすい活火山と言われるヤスール山の見学もお勧めです。船はロイヤリティー諸島に位置する白砂のビーチと熱帯植物の絵葉書のような風景が広がるリフー島とクアレ島に向かい、ヌメアで下船します。



このクルーズは、
ナショナルジオグラフィックとのコラボレーション企画です。

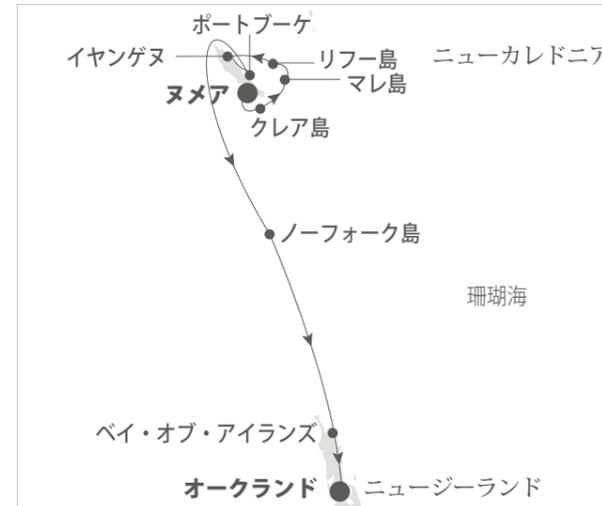


ハイライト

- ナショナルジオグラフィックの専門家や写真家、エクスペディション・チームといったスペシャリストが同行します。
- ウレパラパラ島では死火山のカルデラを利用した天然の港へ入港します。
- エスピリトゥサント島では、バヌアツの女性に伝わる伝統的な音楽「ウォーター・ミュージック」の演奏をお楽しみください。
- タンナ島の活火山で「世界で最も火口に近づく活火山」と名高いヤスール山を散策します。
- ニューカレドニアのカナック文化やバヌアツ・マレクラ島のナンバ族との出会い、アンブリム島の有名なロムダンスなど各島に伝わる芸術と伝統を体験します。
- 経験豊富な船上インストラクターと潜るスキューバダイビング (PADIアドバンスド・オープン・ウォーター・ダイバーまたは同等の資格を所有している方のみ参加可能です。)*追加料金が発生します。

Pacific Islands Discovery 太平洋諸島ディスカバリー

ヌメア (ニューカレドニア) 発 ▶ オークランド (ニュージーランド) 着
10泊11日
ル・ソレアル: 2022年11月22日
大人お一人様クルーズ代金: 4,920€~



ヌメアで船に乗り込み、最初に寄港するクアレ島ではその美しさと海洋生態系の豊かさに驚かされるでしょう。その後マレ島、リフー島では、白い砂浜と熱帯植物が織りなす絵葉書のような風景が広がります。ニューカレドニアでは大自然の美しさを心ゆくまでお楽しみください。船はさらに北上してカナック文化の発祥地であるイヤングヌを訪れます。壮大な黒い石灰岩の崖、急峻な地形、世界遺産に登録されているラグーンやサンゴ礁。海底に広がる生物多様性は、ニューカレドニアの象徴とも言われています。その後、オーストラリアのノーフォーク島、ニュージーランドのベイ・オブ・アイランズの魅力にふれ、先住民であるマオリ族の儀式に参加した後、オークランドで下船します。



このクルーズは、
ナショナルジオグラフィックとのコラボレーション企画です。



ハイライト

- ナショナルジオグラフィックの専門家や写真家、エクスペディション・チームといったスペシャリストが同行します。
- 世界で最も美しい海岸やカナック文化など、ニューカレドニアの多様性を余すことなく体感できる旅です。
- シュノーケリングに最適なクアレ島の壮大な白砂のビーチとラグーンを堪能します。
- ロイヤリティー諸島の群島探検やマレ島の手つかずの風景、リフー島の素晴らしい海洋生物との出会いが楽しめます。
- 世界遺産の海・ニューカレドニアの中でも、生物多様性のホットスポットとして知られるイヤングヌを訪れます。
- オーストラリアのノーフォーク島では歴史や文化と出会います。
- ニュージーランドの北島にあるベイ・オブ・プレントイで過ごす豊かな時間も楽しみです。

Japanese Subtropical Islands 沖縄・南西諸島

- 沖縄のもつ魅力的な文化にふれ、泡盛の伝統的な蒸留所を訪れます。地元料理を堪能するのもお忘れなく！
- 西表石垣国立公園を訪れます。石垣島では、素晴らしいビーチや日本最大のサンゴ礁を形成する海底探索をお楽しみください。
- シュノーケルを手に取り、先島諸島の宮古島で無数の色とりどりの魚をお楽しみください。
- 久米島では伝統舞踊エイサーをお楽しみください。
- 慶良間諸島の座間味島では白砂のビーチでリラックス。世界が恋する「ケラマブルー」の海を泳ぐ贅沢な時間をご堪能ください。
- 西表島ではマングローブの中をエクスペディション・チームと共に探検に出かけましょう。
- 与那国島では、日本在来馬の一種「与那国馬」の放牧を見学にいけます。

※運航スケジュールや特定場所への上陸、野生動物の観察などは当日の天候や海の状態により変更となる場合がございます。

シュノーケリング(石垣島)



透明度の高い海(石垣島)



与那国馬(与那国島)



赤い鳥居(沖縄県那覇市)



ビーチの眺め



伝統舞踊エイサー

Japanese Subtropical Islands 沖縄・南西諸島の旅

大阪(日本)発 ▶ 基隆(台湾)着

7泊8日

ル・ソレアル:2022年5月24日

大人お一人様クルーズ代金:4,270€~



大阪から出航し、沖縄ののどかな島々を目指して南下していきます。向かうは、サンゴ礁の島・喜界島。美しいビーチとターコイズブルーの海、そしてユニークな生物多様性を誇る魅力的な島を探索します。

次の寄港地は、慶良間諸島の座間味島。その海は「ケラマブルー」と呼ばれる美しい青で世界に知られています。この海域の生態系はとても豊かで、ウミガメがサンゴの間を泳いでいるのを頻繁に見かけます。島の手つかずの美しい自然をご堪能ください。壮大な西表石垣国立公園では、熱帯雨林、マングローブ、川、滝が訪れる人々を魅了します。ここでは多くの固有種が息する大自然と、八重山の集落が隣り合わせに存在しています。琉球列島の最西端に位置する与那国島では、荒々しい波が打ち付ける断崖絶壁や風に吹かれる草原、野生の馬など、他の島々とは一味違う風景を見ることができます。ダイバーの皆様は、海底の美しさと神秘的な岩の形を楽しむことができるこの場所に心掴まれることでしょう。最後に、台湾の首都台北の港町「基隆」で船旅が終わります。



首里城の守礼門(沖縄本島)

ハイライト

- 白い砂浜、透き通った海、サンゴ礁、熱帯林、マングローブなどの多種多様な風景との出会いが楽しめます。
- 西表石垣国立公園内や泡盛の伝統的な蒸留所を訪れます。地元料理を堪能するのもお忘れなく！三線などの伝統的な楽器や舞踊など、全身で沖縄文化をご堪能ください。
- 喜界島、座間味島、久米島の美しいビーチへ出かけましょう。
- サンゴ礁の聖地、座間味島でシュノーケリングをお楽しみください。
- 西表島のマングローブ地帯をエクスペディション・チームとの探検に出かけましょう。

Japanese Subtropical Islands 沖縄・南西諸島の旅

基隆(台湾)発 ▶ 那覇(日本)着

7泊8日

ル・ソレアル:2022年5月31日

大人お一人様クルーズ代金:4,010€~



台湾の首都・台北の港町「基隆」から乗船し、八重山諸島をめぐる。石垣島の繁華街を楽しむ時間も、透き通ったターコイズブルーの海と白い砂浜が織り成す牧歌的な風景で知られる川平湾を訪れる時間も、どちらも贅沢な時間です。西表石垣国立公園では熱帯雨林、マングローブ、川、滝などの生態系が保護されており、多くの固有種が息しています。

また、沖縄の島々の中でも、最北端に位置する伊平屋島にも寄港します。ここでは太鼓を使った伝統舞踊エイサーなど、この地域の伝統文化を体験します。

最後の寄港地は、慶良間諸島の座間味島です。「ケラマブルー」と呼ばれる特徴的な青をたたえる海は世界的に知られていて、手つかずの美しい自然を楽しむことができます。海の生物も非常に豊富で、サンゴの間を泳ぐウミガメの姿も頻繁に見られます。その後、沖縄本島の那覇で下船します。

ハイライト

- 白い砂浜、透き通った海、サンゴ礁、熱帯林、マングローブ、洞窟などの多種多様な風景との出会いが楽しめます。
- 沖縄の郷土料理と沖縄を代表するお酒、泡盛をご堪能ください。地元の蒸留所への訪問もあります。
- 西表石垣国立公園内を訪れます。伊平屋島では伝統舞踊エイサーを習うこともできます。
- 石垣島、宮古島、久米島の美しいビーチでリラックスした時間をお過ごしください。
- サンゴ礁の聖地、座間味島でシュノーケリングをお楽しみください。
- 西表島のマングローブ地帯をエクスペディション・チームとの探検に出かけましょう。



川平湾の航空写真(沖縄県石垣島)



The Indian Ocean インド洋

- マダガスカルにあるアンカラファンチカ国立公園で、固有種の植物や巨大な赤い砂岩で出来た国立記念物「シルク・ルージュ」に出会いに行きます。
- 世界最後の「海の遊牧民」と言われるヴェゾ族の人々との交流も楽しみです。
- タンザニアの沖合に位置する「スパイスアイランド」と呼ばれるザンジバル諸島の探索へ出かけます。
- セーシェルにあるキュリーズ島では、自然学者と共に野生の巨大なゾウカメの群れを観察します。
- 「インド洋のガラパゴス」と称されるコスモレド環礁ではここでしか出会えない固有種をバードウォッチングしたり、シュノーケリングで観察したりと特別な経験が待っています。
- ピンク色に染まった大きな花崗岩が有名なラ・ディグ島へ上陸します。
- セーシェル諸島で最も高い、標高905mのモルヌ・セシエロワを登頂します。

※運航スケジュールや特定場所への上陸、野生動物の観察などは当日の天候や海の状態より変更となる場合がございます。



セーシェルに停泊中のエクプローラーズ



アカハラキツネサル(マダガスカル)



伝統的な漁船(マダガスカル)



ザンジバル諸島の漁師(タンザニア)



カメレオン(マダガスカル)

Adventures in Madagascar マダガスカル島の冒険へ

ポートルイス (フランス共和国レユニオン地域圏) 発 ▶
ビクトリア (セーシェル・マヘ島) 着

15泊16日

ル・シャンプラン:

2023年2月21日*、3月8日

ル・ブーゲンビル:

2023年3月10日*、3月25日

大人お一人様クルーズ料金: 7,040€~

*リバース旅程



セーシェルとモーリシャスの間に位置し、世界で4番目に大きな島であるマダガスカルを訪ねる旅へ。セーシールのラ・ディグ島から、ノシ・ハラ島、クンバ島、タニケリー島と牧歌的でありながら美しく魅惑的な世界が、次から次へと展開されていきます。

ノシ・ハラ島、クンバ島、タニケリー島は静かな無人ビーチと海洋生物が息づく素晴らしいサンゴ礁が広がっています。また多種多様な鳥類やキツネザルの聖地、アンカラファンチカ国立公園や南西部にあるユネスコ生物圏保護区の荒野など、見る者を驚かせる豊かな自然がそこかしこに存在しています。また、マダガスカルの文化的多様性を感じるペロ・シュル・メールやサロドラノの町での体験も、この船旅だからこそその豊かな時間となるでしょう。世界で最後の「海の遊牧民」と呼ばれるヴェゾ族との出会い、ヴェゾ族に何世代にも渡って受け継がれてきた漁について伺います。その後、レユニオン島のポワント・デ・ガレに寄港し、最後の寄港地モーリシャスのポートルイスで下船します。



キツネザル (アンカラファンチカ国立公園)

ハイライト

- マダガスカルにあるペロ・シュル・メールやトゥリアラの町、サロドラノの美しい海岸線、楽園の島ノシ・ベ、そして南西部にある生物圏保護区の訪問。ユネスコ認定地域であるレユニオン島の山頂・入り江・岩壁をめぐる。
- 特徴的な花崗岩の大きな岩とヤシの木に縁取られたラ・ディグ島の最も有名なアンス・スール・ダルジャンビーチ(セーシェル)を訪れます。
- ノシ・ハラ島、クンバ島、タニケリー島の美しいサンゴ礁の海、楽園の島ノシ・ベのラグーンや天然のプール、アンカラファンチカ国立公園をめぐる。
- 色とりどりの魚やアオウミガメなどの海洋生物をはじめ、ワオキツネザルやアカエリキツネザル、カメレオン、アカオネツタイチョウ、ホウシャガメなど希少な動物たちとの出会いも楽しみです。
- 経験豊富な船上インストラクターによるスキューバダイビング (PADIアドバンスド・オープン・ウォーター・ダイバーまたは同等の資格を所有している方のみ参加可能です。)*追加料金が発生します。

Zanzibar & the Jewels of the Indian Ocean ザンジバルとインド洋の宝石

ザンジバル (タンザニア) 発 ▶ ビクトリア諸島 (セーシェル・マヘ島) 着

12泊13日

ル・ジャックカルティエ: (選べる出発日) 2023年2月28日、3月12日

大人お一人様クルーズ料金: 5,880€~



ザンジバルの漁師と伝統的な帆船



素晴らしい自然環境、類まれな野生動物との出会い、世界遺産に登録されたインド洋の歴史的建造物をめぐるチャンスにあふれています。石造りの街並みが美しい世界遺産の街・ストーン・タウンを有するザンジバルから、ペンバ島へ。

ペンバ島はクロープのプランテーションと素晴らしいスキューバダイビング・スポットで有名な島です。ミスリ島を訪れた後、インド洋交易によって栄えた海洋文明スワヒリ文化の「キルワ・キシワニ遺跡」を見学します。アサンプション島を経て、「インド洋のガラパゴス」と称されるコスモレド環礁へ。まるで水族館の中を泳いでいるかのように、にぎやかなラグーンでのダイビングは格別です。セーシェルではアルフォンス島やアストーフ島でも、色鮮やかな海の生物の中でシュノーケリングやダイビングを楽しむことができます。デロッシュ島を経て、ヤシの木、花崗岩の岩、白い砂、透き通った海など、まさにセーシールの絵葉書のような景色が広がるラ・ディグ島に到着して旅が幕を閉じます。

ハイライト

- セーシェルとタンザニアが有するたくさんの島をエクスペディションでめぐります。
- 経験豊富な自然学者ガイドチームと共にゾディアック・ボートで探索し、のどかで心安らぐビーチでゆったりと過ごします。
- 世界遺産キルワ・キシワニ遺跡やザンジバルのストーン・タウンを訪問します。
- 固有種である鳥類が息づく自然保護区アストーフ島とコスモレド環礁をゾディアック・ボートでめぐります。
- サンゴ礁の島・デロッシュ島ではココヤシやタカマカ、フィロスが生い茂る、緑豊かな癒しの空間を楽しめます。
- 特徴的な花崗岩の大きな岩とヤシの木に縁取られたラ・ディグ島の最も有名なアンス・スール・ダルジャンビーチ(セーシェル)を訪れます。
- 経験豊富な船上インストラクターによるスキューバダイビング (PADIアドバンスド・オープン・ウォーター・ダイバーまたは同等の資格を所有している方のみ参加可能です。)*追加料金が発生します。

The Essential Seychelles

セーシェル諸島スペシャル

ビクトリア(セーシェル・マヘ島) 発着

8泊9日

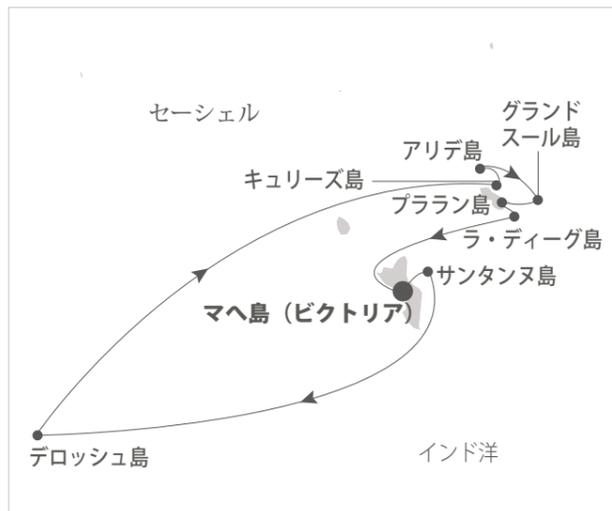
ル・ジャックカルティエ: 2023年1月11日、1月31日、2月13日、2月20日

ル・シャンプラン: 2023年3月28日

大人お一人様クルーズ代金: 3,530€~



アンス・スール・ダルジャンビーチ(ラ・ディーグ島)



インド洋には宝石を散りばめたような、大小115もの美しい島々が点在し、その一つひとつがまったく異なる顔を持っています。セーシェル諸島のエッセンスを凝縮したこのツアーでは、この楽園を世界的に有名にした美しい数々の島々をめぐる。セントアン海洋国立公園、アリデ島、キュリーズ島では、発達したサンゴ礁や何千羽もの野鳥、アルダブラゾウガメなど、多様な野生動物を間近に感じることができます。プララン島では世界遺産にも登録されているヴァレ・ド・メ渓谷自然保護区を訪れましょう。ここでは世界最大のヤシの実「ココ・デ・メール」があります。終盤を訪れるグランドスール島とラ・ディーグ島には、甲乙つけがたい美しいビーチがあり、忘れられない時間を過ごせるでしょう。波の下を自由に泳ぐ、ウミガメと色とりどりの熱帯魚たち。船旅を終えるその瞬間まで、魅力的な世界があなたの周りに広がっています。

ハイライト

- 世界遺産に登録されているプララン島のヴァレ・ド・メ渓谷自然保護区の探索に出かけます。
- 色とりどりの植物が生い茂る73ヘクタールに及ぶ広大なアリデ島自然保護区。100万羽以上の鳥類が生息する世界でもトップクラスの豊かな場所でバードウォッチング体験します。
- 大きな花崗岩の塊と透き通った海で有名なラ・ディーグ島のビーチでの贅沢な時間を過ごします。
- キュリユーズ島でのカメの観察を楽しみましょう。
- 経験豊富な船上インストラクターによるスキューバダイビング (PADIアドバンスド・オープン・ウォーター・ダイバーまたは同等の資格を所有している方のみ参加可能です。)*追加料金が発生します。

Secret Seychelles Islands

セーシェル諸島、秘密の島々

ビクトリア(セーシェル・マヘ島) 発着

12泊13日

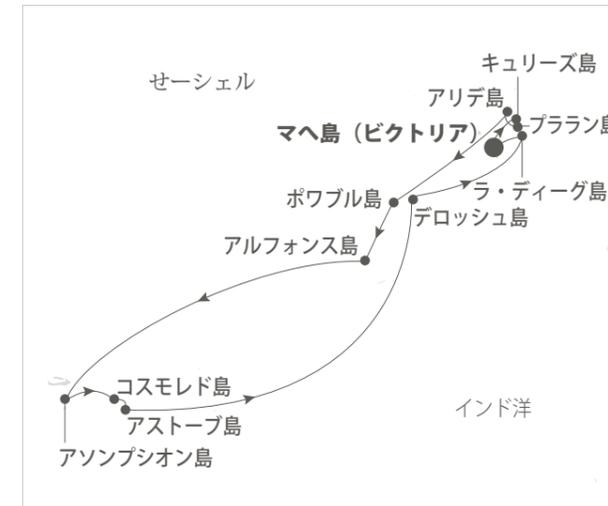
ル・ジャックカルティエ:

2023年1月19日、2月8日、3月24日

ル・シャンプラン:

2023年3月23日

大人お一人様クルーズ代金: 5,640€~



世界に広くは知られていないものの、息を呑むほど美しい自然と独自の生態系を持つ海をゆく、特別に素敵で13日間の船旅。セーシェル諸島の首都ヴィクトリアを出発して間もなく、広がる世界は一変し、のどかで美しい風景と珍しい動植物たちとの出会いが待っています。プララン島ではヴァレ・ド・メ渓谷自然保護区を訪れます。ここでは「愛の木の実」というニックネームを持つ、非常に魅力的な形をした巨大な果物・オオミヤシがあります。インド洋に浮かぶアリデ島では、固有種を含む数千種類の鳥類を観察することができます。航海中には、ポワブル島、アソンプション島、アストーブ島、そしてアルフォンズ・ラグーンやサンゴ礁の中心部などでダイビングやシュノーケリングをする機会が豊富にあります。この旅のもうひとつのハイライトは、コスモレド島への寄港。そのユニークな水中世界の美しさから「インド洋のガラパゴス」と呼ばれるこの楽園のようなラグーンでのダイビングは、特別な体験となるでしょう。他にも、セーシェルで最も有名なサンゴ礁の島、デロッシュ島とラ・ディーグ島の美しいビーチにも立ち寄ります。

ハイライト

- 世界遺産でもあるプララン島のヴァレ・ド・メ渓谷自然保護区を訪れます。
- アリデ自然保護区の73ヘクタールもの広大なエリアに生息する、色とりどりの植物と100万羽以上の鳥類はセーシェルの宝です。
- 花崗岩の島、キュリーズ島のむき出しの赤土の美しさを目の当たりにします。
- 1502年にヴァスコ・ダ・ガマが発見したアミラント諸島のポワブル島とデロッシュ島の楽園のようなサンゴ礁の海を航海していきます。
- サンゴ礁の島・デロッシュ島ではココヤシやタカマカ、フィロスが生い茂る、緑豊かな癒しの空間を楽しめます。
- アルフォンズ島、アストーブ島、キュリーズ島では希少種のカメを観察します。
- 固有種の鳥類が生息する自然保護区として保存されているアストーブ島とコスモレド島のラグーンを訪れることができます。
- 大きな花崗岩の塊と透き通った海で有名なラ・ディーグ島のビーチでの贅沢な時間を過ごします。
- 経験豊富な船上インストラクターによるスキューバダイビング (PADIアドバンスド・オープン・ウォーター・ダイバーまたは同等の資格を所有している方のみ参加可能です。)*追加料金が発生します。



カメ(キュリーズ島)

The Antarctic 南極

- 南米大陸の南端から伝説のドレーク海峡を航行
- サウスジョージア島のビーチで、世界最大級・約50万羽のキングペンギンの群れに混ざり泳ぐという特別な体験ができます。
- 手つかずの氷海の上を漕ぐカヤック体験をお楽しみください。
- 船やゾディアック・ボートでの航行中には、ザトウクジラの雄大で迫力のある動きを間近に見て圧倒されるでしょう。
- 南極の背景と溶け込むようにして、ペンギンたちの一日を見守る贅沢な時間を過ごします。
- 廃墟となった捕鯨場や科学基地を訪問できます。
- 自然が作り出した芸術品、圧倒的な存在感を放つ壮大な氷山の合間をぬってゾディアック・ボートが進んでいきます。
- かの偉大な極地探検家であるアーネスト・シャクルトン、ジャン＝バティスト・シャルコー、ロアルド・アムンセンなどが刻んだ南極探検の足跡をエクスペディション・チームと共に辿ります。

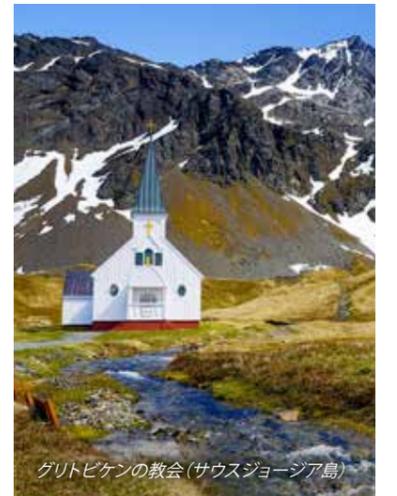
※運航スケジュールや特定場所への上陸、野生動物の観察などは当日の天候や海の状態により変更となる場合がございます。



エクスペディション・チームとの寄港地ツアー



アデリーペンギン



グリトビケン教会(サウスジョージア島)



南極の夕日



パラダイス・ベイでのホエールウォッチング

南極への旅

ウシュアイア (アルゼンチン) 発着

10泊12日間

ロストラル:

2022年11月20日、12月11日、2023年1月10日、2月23日

ル・ボレアル:

2022年12月17日、27日、2023年1月6日、16日、29日、2月5日

ル・リリアル:

2023年2月1日、11日、21日

大人お一人様クルーズ料金:8,850€~



ポナンは、お客様の世界観を変えてしまうような、そんな旅の体験を提供したいと願っています。南極エクスペディションはまさにそのような旅。南極は、自然が全てを支配する地であり、様々な瞬間に予期せぬことが起こります。

世界で最も荒れる海域のひとつとして歴史的にも長く語られてきたドレーク海峡を通過した先にある南極——ここから、これまでの人生の常識を覆すような体験が待ち受けています。

この地球で最後に残された未開の地、南極の真っ白な風景の美しさ、人類の手が加えられたことのない本当の極限環境、そこに生息する数多くの野生動物。心が揺さぶられる瞬間が続きます。ジェンツーペンギン、アデリーペンギン、ヒゲペンギン、ザトウクジラ、アザラシ、海鳥など.....数多くの生物が世界の果てに存在する海で平和に戯れ、美しい白い大陸「南極」への旅を試みるポナンで来た新たな冒険家たちを受け入れてくれるでしょう。



ザトウクジラ(エンタープライズ湾)

ハイライト

- エクスペディション・チームと共に南極半島に足を踏み入れ、白い大陸の異世界の風景に浸ります。
- 科学基地や旧捕鯨場の訪問ができます。
- エクスペディション・ガイドと一緒にゾディアック・ボートに乗り込み、湾に入ってみたり、山の頂上や氷山を眺めたりといったスリリングな体験が待っています。
- 極地探検家の足跡を辿りながら、歴史家ガイドとエクスペディション・チームと共に、ウォーキングやセーリングをご堪能ください。
- ペンギン・ザトウクジラ・アザラシ・オオフルマカモメ・ゾウアザラシ・オットセイ・ヒョウアザラシ・カニクイアザラシなど、多種多様な野生動物のユニークな生態を学べます。

NEW: シーカヤックでの冒険で南極の魅力を隅々まで堪能
経験豊富な認定カヤックガイドの案内で、氷の間の水面を滑るように進んでいきます。タンデムカヤック、カーボン・パドル、全身用ドライ・スーツ、ライフジャケット、AISビーコンなど、プロ仕様の装備をご用意しています。



2022年11月20日に出発するクルーズは、
ナショナルジオグラフィックとのコラボレーション企画です。

南極大周遊の旅

ウシュアイア (アルゼンチン) 発着

15泊17日

ロストラル:

2022年11月4日、2023年1月29日

ル・ボレアル:2022年11月7日、21日

ル・リリアル:2022年11月16日

大人お一人様クルーズ料金:11,080€~



南極の真の迫力を理解する最良の方法は、航海中に刻々と変化していく風景を目の当たりにすることでしょう。フォークランド諸島付近の、青々とした草原の景色。サウスジョージア島に辿り着く頃、外に広がっているのは黒い砂浜に堂々と佇むキングペンギンのコロニーです。

目的地の南極半島は真っ白な風景だけではなく、本物の南極はそれよりずっと複雑で美しいです。海にも陸にも、時にブルー、時にグレー、そしてロマンティックなピンクまでもが様々に混ざり合い、映し出されます。そこには、これまで目にしたことのない、一瞬一瞬が驚きに満ちた空間です。厳しい自然環境を長く保ってきたこの地には、果てしない流氷や氷河、雪を頂いた山々とその間にある広大な風景——その景色の中で躍動感に満ちた野生動物など、心躍る場面に満ちています。南極、ここは人生を変えてしまう場所です。



2022年11月4日に出発するクルーズは、
ナショナルジオグラフィックとのコラボレーション企画です。



キングペンギンのコロニー(サウスジョージア島)

ハイライト

- 50万羽のキングペンギンの群れをはじめとする数々の野生動物保護区をもつサウスジョージア島を訪れます。
- フォークランド諸島の白い砂浜に上陸し、マユグロアホウドリのコロニーを観察します。
- エクスペディション・チームと共に南極半島に足を踏み入れて、白い大陸の異世界の風景に浸りましょう。
- 科学基地や旧捕鯨場を訪問します。
- エクスペディション・ガイドと一緒にゾディアック・ボートに乗り込み、湾に入ってみたり、山の頂上や氷山を眺めたりといったスリリングな体験が待っています。
- ペンギン・ザトウクジラ・アザラシ・ゾウアザラシ・オットセイ・ヒョウアザラシ・カニクイアザラシなど、多種多様な野生動物のユニークな生態を学べます。

NEW: シーカヤックでの冒険で南極の魅力を隅々まで堪能
経験豊富な認定カヤックガイドの案内で、氷の間の水面を滑るように進んでいきます。タンデムカヤック、カーボン・パドル、全身用ドライ・スーツ、ライフジャケット、AISビーコンなど、プロ仕様の装備をご用意しています。

The Great Adventure

南極大冒険

ウシュアイア (アルゼンチン) 発 ▶ モンテビデオ (ウルグアイ) 着

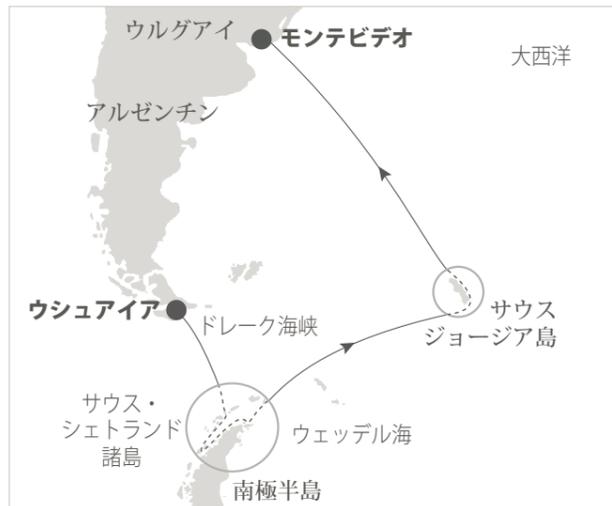
15泊16日間

ロストラル:2023年3月5日

大人お一人様クルーズ代金:11,090€~



パラダイス湾でのゾディアック・ボートツアー



南極探検家と言えば、ジャン=バティスト・シャルコー、アドリアン・ド・ゲルラシュ、アーネスト・シャクルトン……この16日間の極地探検クルーズでは、これらの偉大な南極探検家の足跡を辿ります。

旅は「世界の果て」と呼ばれる、南米大陸の最南端に広がるティエラ・デル・フエゴのウシュアイアから始まります。謎めいた場所として語られてきたドレーク海峡を渡った後、驚きの連続の舞台となる白い大陸へと向かいます。自然が支配するこの極限の環境は、美しい極地の秘密の数々を発見する機会を与えてくれることでしょう。ジェンツーペンギン、アデリーペンギン、ヒゲペンギン、ザトウクジラ、アザラシ、海鳥など、南極半島では数え切れないほどの野生動物との出会いにあふれており、生涯心に響き続けるかけがえのない思い出となることでしょう。

美しいブルーをたたえた氷河や氷山は、1000年以上のサイクルの中で生まれ続けている天然の芸術作品です。旅の後半には、サウスジョージア島やキングペンギンが凜と佇む生息地がある黒砂のビーチも訪れます。

ハイライト

- 50万羽のキングペンギンの群れをはじめとする数々の野生動物保護区をもつサウスジョージア島を訪れます。
- エクスペディション・チームと共に南極半島に足を踏み入れて、白い大陸の異世界の風景に浸りましょう。
- 科学基地や旧捕鯨場を訪問します。
- エクスペディション・ガイドと一緒にゾディアック・ボートに乗り込み、湾に入ってみたり、山の頂上や氷山を眺めたりといったスリリングな体験が待っています。
- ペンギン・ザトウクジラ・アザラシ・オオフルマカモメ・ゾウアザラシ・オットセイ・ヒョウアザラシ・カニクイアザラシなど、多種多様な野生動物のユニークな生態を学べます。

NEW: シーカヤックでの冒険で南極の魅力を隅々まで堪能

経験豊富な認定カヤックガイドの案内で、氷の間の水面を滑るように進んでいきます。タンデムカヤック、カーボン・パドル、全身用ドライ・スーツ、ライフジャケット、AISビーコンなど、プロ仕様の装備をご用意しています。

NEW

Wild Nature between
Argentina & the Falkland Islands

アルゼンチンとフォークランド諸島 野生で手つかずの自然

ウシュアイア (アルゼンチン) 発 ▶

ブエノスアイレス (アルゼンチン) 着

14泊16日

ル・リリアル:2023年3月15日

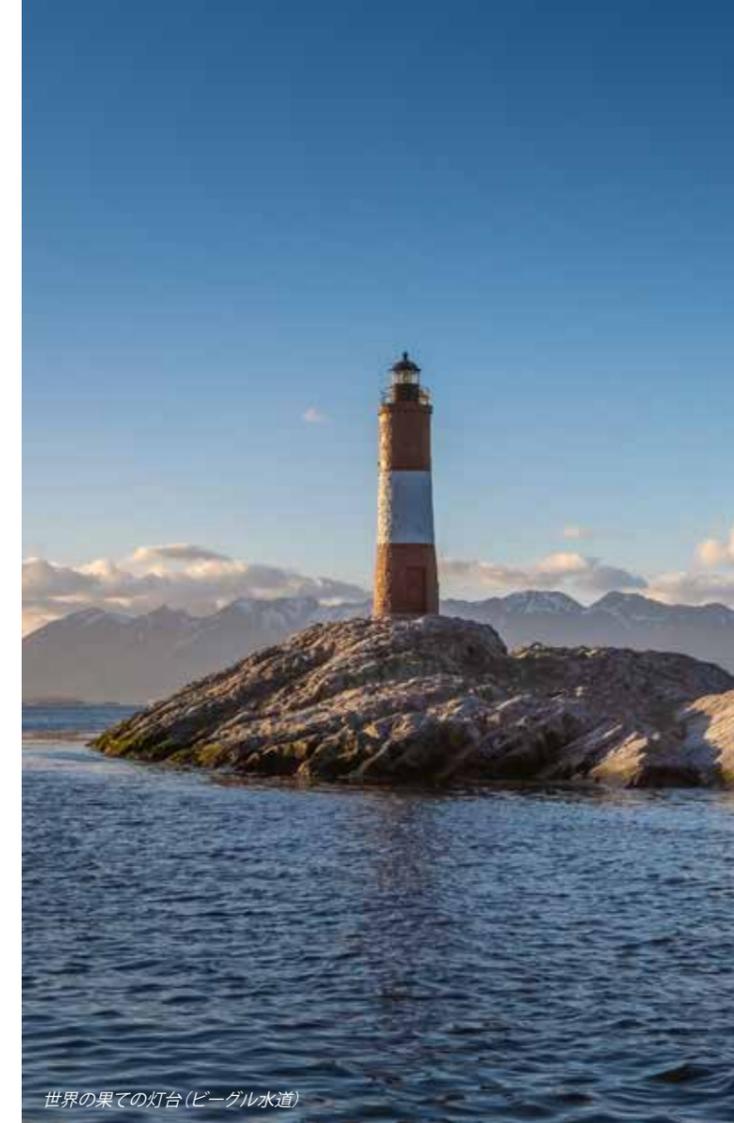
大人お一人様クルーズ代金:6,700€~



新しく作られたこのクルーズは、手付かずの大自然を堪能する船旅です。航海の始まりは、アンデス山脈の最南端に位置するウシュアイア。有名なホーン岬からスタートし、ジュール・ヴェルヌの小説で有名な「世界の果ての灯台」があるロス・エスタードス島へと舵を取ります。そこから世界最大のマユグロアホウドリ生息地であるフォークランド諸島へ。ニューアイランド島、カーカス島、サンダース島と探索し、キングペンギンの一大コロニーとして有名なボランティア・ポイントでは他にも様々な種類のペンギンが生息しています。その後、アルゼンチン南部のチュブ州にある小さな街、カマロネスを訪れます。自然の宝庫であるカマロネスでは、ユニークな海洋動物やアシカ、ゾウアザラシ、イロワケイルカなどを観察することができます。最後の目的地はプエルト・マドリン。オプションツアーでは、世界遺産に登録されているバルデス半島を訪れます。バルデス半島は、絶滅の危機に瀕しているミナミセミクジラやシャチ、南米アシカなどの海洋哺乳類が数多く生息する地です。旅の終わりの下船の地はアルゼンチンの首都ブエノスアイレスです。

ハイライト

- 野生の姿が大変美しいティエラ・デル・フエゴと情熱の街・ブエノスアイレスを結ぶクルーズです。
- 神秘的なホーン岬。フエゴ諸島にある断崖絶壁の孤島・オルノス島への下船は天候が許すかどうか。上陸できれば、それはとても幸運なことです。
- アルゼンチンの最南端に位置するロス・エスタードス島を航海し、ジュール・ヴェルヌの小説のモチーフとなった世界の果ての灯台を見るチャンスです。
- ニューアイランド島、カーカス島、サンダース島、ボランティアポイント、スタンレー港とめぐる5つの寄港地で、フォークランド諸島の大自然を堪能します。
- フォークランド諸島ではマゼランペンギン、カマロネスではアシカやイロワケイルカ、バルデス半島ではミナミセミクジラやシャチとの出会いが待っています。
- プエルト・マドリンからユネスコ世界遺産に登録されているバルデス半島へのオプションツアーにご参加いただけます。



世界の果ての灯台(ビーグル水道)

The Arctic 北極

- スピッツベルゲン島ではエクスペディション・チームと共にゾディアック・ボートに乗りこみ、氷床を歩き回るホッキョクグマやアザラシを探しに出かけます。
- スコアスピー湾で出逢う雄大な氷山の数々。ときには氷河から氷山が切り出される瞬間に出会うこともあるでしょう。
- 北東航路をゆく、歴史的にも象徴的なこの海上ルートを探索する一生に一度の経験が待っています。
- アリューシャン列島に足を踏み入れ、その火山性の景観と魅力的な歴史を体験します。
- バフィン島の北東海岸にあるイザベラ湾で、迫力あるクジラのダンスを堪能します。
- チュコトカ地方のツンドラ平原を訪れ、伝統的なトナカイの牧畜や狩猟、漁撈をする先住民族・チュクチ族に出会いにいけます。

※運航スケジュールや特定場所への上陸、野生動物の観察などは当日の天候や海の状態により変更となる場合がございます。



クロルスアックでの出会い
(グリーンランド)



雪に残るホッキョクグマの足跡



カンゲルヘルスアーク氷河の眺め



カラフルな家々(グリーンランド)



トナカイ(スピッツベルゲン島)

Fjords & Glaciers of Spitsbergen スピッツベルゲン島の フィヨルドと氷河

ロンギェールビーン (スピッツベルゲン島) 発着

7泊8日

ロストラル:

2022年6月3日、6月10日、6月17日、6月24日

2023年5月17日、5月24日、5月31日、6月7日、6月14日、6月21日

ル・ボレアル:

2022年6月1日、6月8日、6月22日、6月29日、

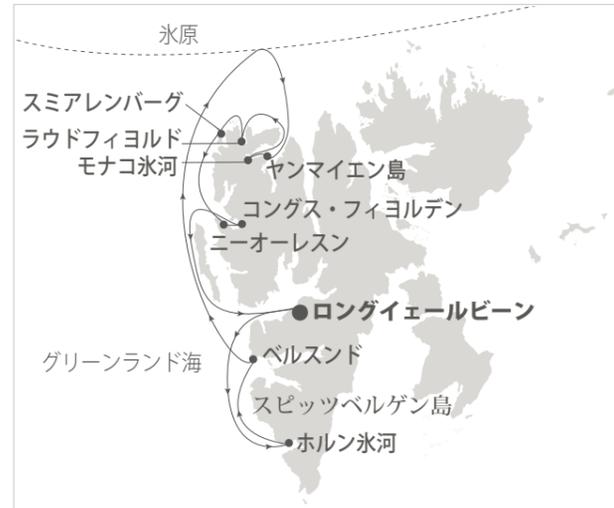
7月6日、7月13日、7月20日、7月27日、

8月3日、8月10日

2023年5月30日、6月6日、6月13日、6月27日、

7月4日、8月12日

大人お一人様クルーズ料金: 7,410€~



北極圏に位置するノルウェーの群島、スヴァールバル諸島にあるスピッツベルゲン島は極北への玄関口です。ここでは極北の美しい風景や冬にはマイナス30度にもなる気温に適応した進化を遂げた動植物などと出会うことができます。

この船旅では、コングス・フィヨルデンの壮大な氷河を目指して航行し、そこから更にかつての捕鯨船乗組員の足跡を辿るように北西スピッツベルゲン国立公園へと向かいます。かつて彼らが定住していた場所は、現在は数種のクジラやネズミイルカなどが、この上ない静けさの中、暮らしています。

スヴァールバル諸島の東側、ノルダウスト・スヴァールバル自然保護区の海岸とヒンローベン海峡の間には極地砂漠があり、海鳥、セイウチ、ホッキョククマ、ホッキョクギツネなどが餌を求めてやってくる豊かな生態系があります。これらの北極圏を象徴する動物たちには南東スヴァールバル自然保護区でも出会うことができます。



ホッキョクグマ

ハイライト

- スピッツベルゲン島最南端の西側にあるフィヨルド、ホルンスンドに流れ込む8つの雄大な氷河を眺めに出かけます。
- キングスベイを航行し、スピッツベルゲン島で最も美しいフィヨルド、雪をいただいた山々、素晴らしい氷山、野生動物が溢れる「王のフィヨルド」と呼ばれるコングス・フィヨルデンへ
- エクスペディション・チームと共にゾディアック・ボートに乗り込み、流氷の上を歩き回るアザラシやホッキョクグマの観察にでかけます。
- ラウドフィヨルドにあるブルセンセット湾で、先住民族の暮らしや探検家の軌跡を学びます。
- かつて捕鯨拠点だったアムステルダム島へ上陸します。

Baffin Bay Secrets バフィン湾の秘密

カンゲルルススアーク (グリーンランド) 発着

13泊14日

ロストラル: 2022年7月27日、2023年7月12日

大人お一人様クルーズ料金: 13,540€~



エキ氷河の壮大な眺め



カンゲルルススアークで乗船し、雄大な氷山と壮大な山々、玄武岩の地層に囲まれた色鮮やかな村々が迎えてくれるグリーンランドの西海岸へ向けて出発します。

グリーンランドではイヌイットの人々と出会い、彼らの文化を学びます。北上した先にあるバフィン湾では北極圏のツンドラの中で、現代も熊狩りやイッカク漁を行い、先祖代々の伝統を守りながら暮らす人々の家が並ぶ、人里離れた村々を訪ねます。イヌイットの古代文明の遺跡やグリーンランド最大の「氷山の墓場」であるサヴィシヴィークを訪れるエクスペディションの終盤では、カナダのヌナブト州にあるバフィン島の東海岸を航行します。バフィン島では、険しいフィヨルドと数千メートル級の高さの山々など、素晴らしい自然の中で、さまざまな景色や冒険を楽しむことができます。

ハイライト

- 世界遺産であり、北半球で最も多く氷山が生まれるディスコ湾の探索にでかけます。
- ウマナック湾に浮かぶ黄土色、黄色、オレンジ色をした小さな無人島・アクルレク島へ
- 氷床に向かって伸びる壮大なカラット・フィヨルドを眺め、クルージングします。
- グリーンランドでは漁業やアザラシ、クマの狩猟で生活している伝統的なコミュニティである、クロルスアックやサヴィシヴィークを訪ねます。
- エクスペディション・チームと一緒にゾディアック・ボートに乗り込み、スケールの大きな氷河や目もくらむような氷山エリアを堪能しましょう。
- イザベラ湾ではホッキョククジラやイッカク、ホッキョクグマなどの大型の海洋生物のほか、ヒメウミスズメ、フルマカモメ、ケワタガモなど様々な鳥類も観察できます。

The Russian Arctic:
between Wrangel & Chukotka
ウランゲルとチュコトカ
ロシア北極圏を目指して

ノーム (アラスカ) 発着

12泊13日

ル・ボレアル:

2022年9月20日、2023年9月21日

大人お一人様クルーズ料金: 8,670€~



この12泊の特別な旅では、ロシアの高緯度北極圏の素晴らしさを心ゆくまで堪能いただけます。ロシアとアラスカの間を移動し、ベーリング海峡を航行していきます。

タイガとツンドラの間に、北極圏の夏に咲く儂い花々が散りばめられた風景は大変美しく、野生動物との出会いも楽しみです。世界遺産にも登録されているウランゲル島の自然保護区は、セイウチや数えきれないほどの海鳥、そして北極圏の王者であるホッキョクグマなど、北極圏で最も優れた生物多様性が見られる場所です。

チュコトカ半島に沿って航行し行き着く、チュクチ海とベーリング海の間には位置するこの地域は、世界で最も人里離れた地域の一つであり、夏になるとツンドラの風景が様々な表情を見せてくれます。狩猟と漁で生活を続けるチュクチ族との出会いも楽しみです。アラスカのノームで下船します。



チュコトカ地方の雄大な景色



ユピック族の女性 (チュコトカ地方)

ハイライト

- 素晴らしきロシアの高緯度北極圏をゆくユニークなクルーズです。
- 人里離れた地に生きるチュクチ族コミュニティを訪れ、彼らの生活様式を学びます。
- エクスペディション・チームと一緒に、世界遺産にも登録されているウランゲル島保護区を探検しましょう。
- チュクチ海を航行し、ベーリング海峡を渡ります。
- 針葉樹林や高山林、穏やかな湖など広大なツンドラ平原に点在する手つかずの自然が美しい風景の数々を訪れます。
- ホッキョクグマ、セイウチ、コクジラ、ラッコ、マダラアザラシなどの野生動物を探しに、寄港地ツアーやゾディアック・ボートツアーで出かけます。

Alaska & its fur traders
アラスカと毛皮商人

ノーム (米国アラスカ) 発 ▶ バンクーバー (カナダ) 着

14泊15日

ロストラル: 2023年9月18日

大人お一人様クルーズ料金: 9,140€~



餌を食べるザトウクジラの群れ (アラスカ)



どこまでも続くツンドラや輝く湖、巨大な氷河、険しい山々、そして猟師により作られた狩猟小屋や先住民族コミュニティの足跡をたどるアラスカならではの象徴的なルートをゆく船旅です。ベーリング海に浮かぶ4つの火山島からなるプリピロフ諸島のセントポール島に進路を取ります。アリューシャン列島の観光拠点となるダッチ・ハーバーの青々とした海岸にゾディアック・ボートで上陸し、火山や緑豊かな谷など、この地ならではの豊かな環境を堪能するハイキングをお楽しみください。壮大なアイシー湾では、氷河や滝に囲まれたフィヨルド遊覧も見逃せません。アラスカの森の魅力にふれ、トリンギット族のカケ村を訪れます。その後、プリティッシュ・コロンビア州のアラート湾でクジラやその他の海洋哺乳類との出会いを楽しみ、国際都市バンクーバーで下船します。

ハイライト

- シベリアとアラスカに挟まれたベーリング海の真ん中に位置するセント・マシュー島に上陸します。
- アリューシャン列島のユニークな大自然と魅力あふれる歴史にふれます。
- オットセイの大群や240種以上の鳥類が生息する、4つの火山島からなるプリピロフ諸島の探索に出かけましょう。
- 伝統的な村々を訪れての極地で暮らす人々 (アレウト族、トリンギット族、クワキウトル族、ユピック族、ハイダ族) との出会いも楽しみです。
- ヒグマ、ハイイログマ、キョクアジサシ、アザラシ、クジラ、シャチなどの野生動物を、エクスペディション・チームと一緒に観察します。
- 20世紀の間にグイヨー氷河、ヤッツェ氷河、ティンダル氷河が後退してできたアイシー湾のトサア・フィヨルドをゾディアック・ボートで遊覧します。

Expedition along
The East Coast of Greenland
グリーンランド東沿岸

カンゲルルスアーク (グリーンランド) 発 ▶
トロムソ (ノルウェー) 着
15泊16日
ロストラル: 2023年8月10日
大人お一人様クルーズ代金: 12,920€~



エクスペディション・チームと現地専門家とゆく冒険の旅は、グリーンランド南端のカンゲルルスアークからはじまります。それは、野性的で手つかずの自然環境、高山の風景、氷河の風景にどっぷり浸り堪能する船旅です。

1833年にこの地に辿り着いた航海船の船長の名を冠する「ブロッセヴィル海岸」を航行し、世界最大級のフィヨルドが存在するスコフズビー湾や、絵のように美しい色とりどりのグリーンランドの家々が並ぶイトコルトルミット地域を訪ねます。そして、世界最大の国立公園であり、ユネスコの生物圏保存地域にも指定されている北東グリーンランド国立公園へと進みます。人間の生活の香りが全くしないこの地に広がるのは、見渡す限りの美しい色を持つ高山の風景と力強い氷河の数々です。フランスの探検家ジャン＝バティスト・シャルコーが愛したヤンマイエン島に向かう途中、北極圏に入る際にはシャンパンで乾杯しましょう。旅の終わりに向けて船はノルウェーのトロムソへと向かい、トロムソで下船します。



グリーンランド東沿岸に浮かぶ幻想的な冰山

ハイライト

- 世界でも最も僻地にある人々の暮らす土地の一つとして挙げられるイトコルトルミット地域を訪れ、グリーンランド人コミュニティの歴史や生活様式について学びます。
- エクスペディション・チームと一緒にゾディアック・ボートに乗り込み、世界で最も高い氷山の間を縫うようにスコフズビー湾を航海します。
- 巨大なフィヨルドや雄大な高山を有する世界最大の国立公園、北東グリーンランド国立公園を訪れます。
- アザラシ、ホッキョクギツネ、ホッキョクウサギ、ジャコウウシ、大きなホッキョクグマなど、北極圏の代表的な野生動物との出会いも楽しみです。

The Northeast Passage
北東航路

トロムソ (ノルウェー) 発 ▶ ノーム (米国アラスカ) 着
24泊25日
ル・ボレアル:
2022年8月27日; 2023年8月28日
大人お一人様クルーズ代金: 19,110€~



ノルウェーからアラスカへ。北東航路をゆく、歴史的にも象徴的なこの海上ルートを探る「一生に一度」の極地冒険の旅です。エクスペディション・エキスパートと情熱的な自然学者たちと共に北極海を航行し、シベリアの群島や壮大な自然の聖域、世界で最も人里離れたコミュニティの間を縫うように進んでいきます。

ロシア北極圏国立公園のフランツ・ヨーゼフ・ランドやノヴァヤ・ゼムリヤといった雄大な自然の聖域に入れば、北極圏の厳しい自然環境の中で生きるホッキョクグマやセイウチに出会うことも。更に東に進むと、極地にある広大な砂漠であるノーザン・ランド群島や生物多様性が非常に豊かな新シベリア諸島があり、思わず感嘆の声が上がる瞬間が待ち受けています。世界の人々が暮らす中で、最も隔離された土地であるチュコトカ地方は鮮やかな色を放つツンドラで覆われています。ここで様々な地元の人やコミュニティの生活様式・習慣・伝統と出会い、学ぶことになるでしょう。下船地アラスカのノーム港に到着する前に、ユネスコ世界遺産であるウランゲル島のユニークな生物多様性を体験し、かつてこの地を闊歩していたであろうマンモスの痕跡を目の当たりにする貴重な機会もあります。



流氷の上を歩くホッキョクグマ

ハイライト

- シベリア北岸の海上ルートとして歴史的にも象徴的な北東航路でのクルーズです。
- 150年前にはまだ知られていなかった孤立した火山群島で、ロシア北極圏国立公園の一部である自然の聖域、フランツ・ヨーゼフ・ランドを訪れます。
- 広大なツンドラ平原で構成されるロシア東端のチュコトカ地方で東シベリアに残る最古の狩猟・漁撈共同体の一つとして暮らすチュクチ族との出会いも楽しみです。
- 針葉樹林や高山林、穏やかな湖など広大なツンドラ平原に点在する手つかずの自然が美しい風景の数々を訪れます。
- ホッキョクグマ、セイウチ、アザラシ、海鳥、ホッキョクギツネ、レミング、トナカイなどの野生動物との出会いも楽しみです。



LE COMMANDANT CHARCOT

ル・コマンダン・シャルコーで
これまで訪れることが出来なかった、
遠く離れた最果ての地まで...

この世界には、私たちを新たな境地に超越させる力を持つ旅が存在します。
その旅を通して、私たちは単なる乗客ではなく、叡智を備えた旅人となるのです。

砕氷船ル・コマンダン・シャルコーで極地探検の歴史にふれ、
目の前に広がる世界の枠を大きく広げてみませんか。
極地観光クルーズのエキスパートとして30年以上の経験を持つポナンは、
世界初の液化天然ガス (LNG) と電気を燃料としてエンジンやバッテリーを駆動できる
「ハイブリッド砕氷客船」での旅を始めました。
ハイブリッドかつラグジュアリーな極地探検船で、
これまでにない旅をご体験ください。



技術の粋を集めた氷上の航海

世界の最南端から最北端まで航行可能な世界初のラグジュアリーな極地探検船です。

ル・コマンダン・シャルコーは、ポーラー・クラス2 (PC2) の船体を持つ本格的砕氷船であり、通常の客船では近づけない水路に入り、必要に応じて2.5メートルの固い氷の間でも2ノットの速度を維持することができます。

また、フランス・アドレナ社の協力を得て、世界で唯一のルーティング・ソフトウェアを開発しました。最もエネルギー効率が高く安全なルートでのご案内が可能となりました。



極地でこれまで存在しなかったハイブリッド推進力

ハイブリッド発電機を搭載したル・コマンダン・シャルコーは、複数の推進モードを備えています

- 液化天然ガス(LNG)を使用し、炭素(-25%)、窒素酸化物(-85%)、微粒子(-95%)排出量を削減。
※一度のLNG補給で2か月の運航が可能です。
- クルーズ船として最大規模の蓄電池を搭載し、エネルギー消費を最適化することで、1日あたり1時間以上の「完全な静寂と二酸化酸素排出ゼロ」時間を実現しました。

安全性のためのイノベーション

ル・コマンダン・シャルコーは、360°回転可能な世界で最も強力な推進装置(アジポッド)を搭載しており、前進も後進も自由自在に行えます。これにより氷海での安全性と卓越した操船能力が確保されています。極海では「必要に応じて5日間氷上で自給自足が可能であること」が義務付けられています。そのため、私たちは独自の緊急用装備(サバイバルキット・食料・極地用スーツ・シェルターなど)を開発し、世界に先駆けてこれらを提供しています。

科学コミュニティを支える

ル・コマンダン・シャルコーは、フランス唯一のポーラー・クラス2(PC2)の船です。船内には自然科学の研究ラボを設置し、科学者が船上に滞在しながら研究ができる環境を作り上げるといふ、これまでにない学術研究の支援を行っています。

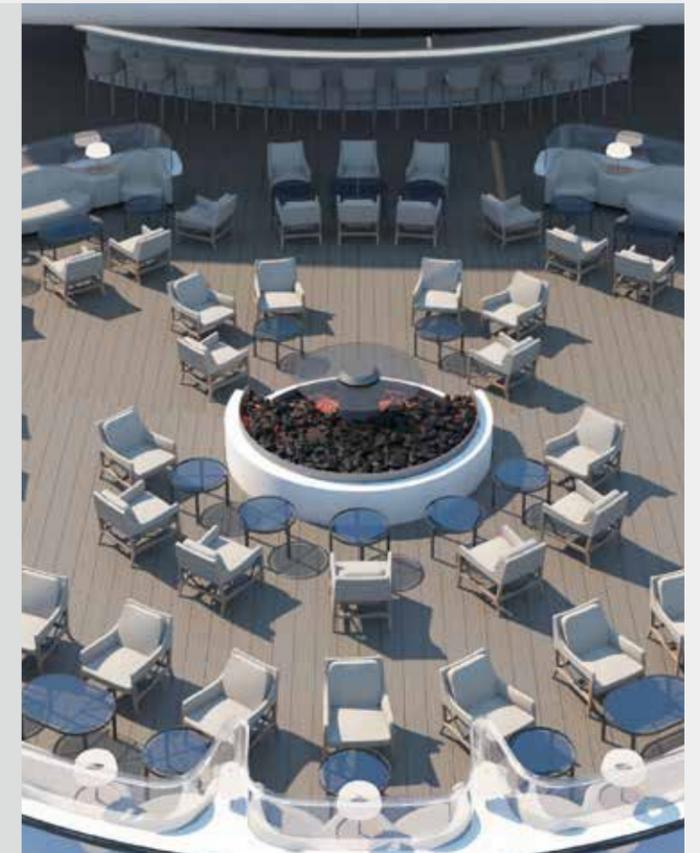
乗船されるお客様は、国際的な各種実験研究に一部参画し(気象データ・氷・水などのサンプリングの入手など)極地に関する知識を人類が深める一翼を担うことが可能となります。

船上の全く新しい空間

ル・コマンダン・シャルコーには、これまでのポナン客船にはなかった新しい設備が備わっています。

- 極地の風景を快適に楽しむことができる、巨大な焚き火台を備えたデッキが憩いの場です。
- 27~37℃の屋外温水ラグーン「ブルーラグーン」は、船の再利用エネルギーを利用しています。
- 外部に面した大きな窓のあるサンルームが特徴的です。
- 大きなガラス屋根で採光に工夫がされた屋内温水プールを備えています。
- サウナを出た後に爽快なスノーバスを体験できる「スノーブルーム」をお楽しみください。
- プリーフィングを開催するミーティングルームを備えています。
- 屋外プロムナードデッキでは、船全体を歩いて船首まで行くことができます。

これらの空間は、世界的に有名なフランスの2つの建築事務所「ジャン=シュル=マルヌ」と「ウィルモット & アソシエ」によって設計され、周囲の風景と船に真の繋がりを生み出すデザインとして完成されました。



特別なスイートルーム&ステートルーム

ル・コマンダン・シャルコー船内には20~115㎡の広さを持つ135室のスイートルームとステートルームがあり、高級感がありながらも温かみのある雰囲気の中で極地探検に出かけることができます。またル・コマンダン・シャルコーには他のポナンの客船にはない独自のスイートルーム「デュプレックススイート」があります。2階建てで94㎡の広さの船室に24㎡のテラスが付いた特別な客室です。また、オーナーズスイートはジャグジーを備えた180㎡のテラスを持つ、115㎡のプライベート・アパートメントとして設計されており、ほかに類を見ないラグジュアリーな空間です。

極限の環境での洗練されたガストロノミー(美食)

北極でも南極でも、繊細なお料理をテーブルでお楽しみいただけます。日々、グルメ・レストランあるいは屋外テラスのあるブルーラグーン・レストランで多彩なメニューが提供されます。



NEW

The Geographic North Pole 北極点への冒険旅行

ロンギェールビーン (スピッツベルゲン島) 発着

15泊16日

ル・コマンダン・シャルコー:

2022年7月8日、7月23日、8月7日、8月22日*

*レイキャビクで下船

大人お一人様クルーズ代金: 33,700€~



北緯90度。このユニークな船旅で目指すのは北極点です。一年中浮氷に覆われた神秘的な北極点は、あらゆる陸地から700km離れた地点に位置する最果ての場所。何世代にも渡る探検家が時代を越えて魅了された地でありながら、これまで到達できた人間はほんの僅か。スピッツベルゲン島を出発した本船が、氷と光の加減により常に変化をしていく壮麗な風景の中を航行する時間は、この時期最も豊かで活動的なときを迎えている自然と、数々の野生動物を観察するのに最適で贅沢な時間となるでしょう。

極地探検家の聖杯である北極点を目指し、船長が流氷の中を注意深く船を進めます。陸地のない北極点——浮氷は潮の流れと風により常に流動しているため、北極点では船も常に動いていなければなりません。



スピッツベルゲン島の流氷

ハイライト

- 北極点を航海する、貴重な体験が待っています。
- エクスペディション・チームや自然学者ガイドとゾディアック・ボートに乗り込み、大自然に囲まれた特別な時間をお過ごしください。
- 流氷、氷山、氷冠、美しい稜線を持つ山、深い谷、切り立った壁、巨大な氷河の合間をゆくクルーズライフをお楽しみください。
- ホッキョクグマ、ホッキョクギツネ、スヴァールバルトナカイ、キョクアジサシ、アザラシ、セイウチ、クジラなどとの出会いも楽しみです。
- ホバークラフティング、北極圏でのハイキング、スノーシュー散策、カヤックなど様々なアクティビティでのユニークな体験が目白押しです。

NEW

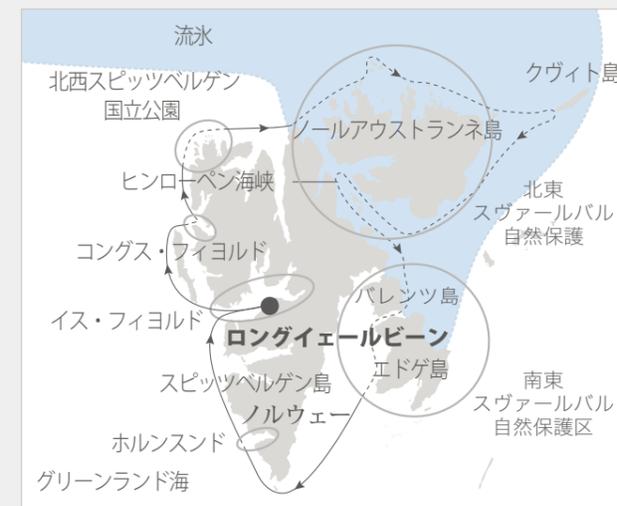
Polar Immersion in Svalbard スヴァールバル諸島での 極地体験

ロンギェールビーン (スピッツベルゲン島) 発着

10泊11日

ル・コマンダン・シャルコー: 2022年6月28日

大人お一人様クルーズ代金: 18,780€~



ル・コマンダン・シャルコーは、従来のクルーズ船ではこの時期には立ち入ることのできない海域へと到達し、スヴァールバル諸島の辺境の地を航海します。ヨーロッパ最大の氷冠と氷の風景が彩るフィヨルドをご堪能ください。ホッキョクグマの王国に足を踏み入れる体験の中で、運が良ければ母グマが子グマに狩りと生存の秘訣を教える場面に出会えるかもしれません。

スヴァールバル諸島の最東端に位置するクヴィト島は、全体が氷に覆われた真っ白な島で、セイウチが多数生息しています。またヒンローペン海峡を航行する中では玄武岩でできた小島や雄大な氷河が織りなす素晴らしいパノラマが楽しめます。ノルウェーで2番目に大きな保護区であるソラウスト・スヴァールバル自然保護区は全体が氷に覆われた殺伐とした外観の下に、実に豊かな動物相が隠されています。ここは重要鳥類生息地に指定されているほか、様々な種類のクジラやスヴァールバルトナカイ、ホッキョクギツネなどの生息地でもあります。北緯80度に到達するまで、忘れられぬ瞬間で埋め尽くされているクルーズです。



トナカイ(スピッツベルゲン島)

ハイライト

- スヴァールバル諸島の手つかずの自然が残されているエリアを航行していきます。
- 経験豊富な自然ガイドチームとゾディアック・ボートやホバークラフトに乗り込み、上陸や海上ツアーをご堪能ください。
- ヨーロッパ最大の氷冠を持つ氷の大地ノールアウストラネ島と白い島・クヴィト島の探索へ出かけましょう。
- 南東スヴァールバル自然保護区の探索も楽しみです。
- スピッツベルゲン島とノールアウストラネ島の間にあるヒンローペン海峡を航行します。
- 流氷、氷山、氷冠、美しい稜線を持つ山、深い谷、切り立った壁、巨大な氷河の合間をゆくクルーズライフをお楽しみください。
- ホッキョクグマ、ホッキョクギツネ、スヴァールバルトナカイ、キョクアジサシ、アザラシ、セイウチ、クジラなどとの出会いも楽しみです。
- カヤック、ハイキング、スノーシュー散策・アイスフィッシング、ポラープランジ(氷冷海ダイブ)、アイスフローティング、科学研究への参画など、ユニークな体験が目白押しです。

NEW

Discovering the
Northeast Greenland National Park

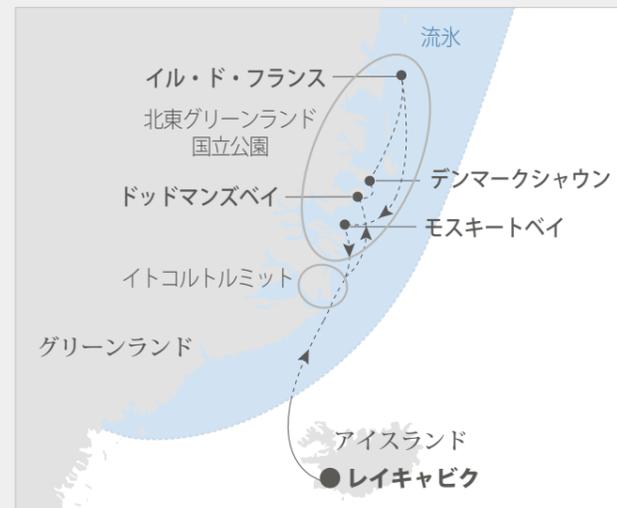
北東グリーンランド国立公園の 魅力堪能の旅

レイキャビク (アイスランド) 発着

12泊13日

ル・コマンダン・シャルコー: 2022年5月10日、5月22日

大人お一人様クルーズ代金: 16,730€~



極北——地球上で最もアクセスが難しい地域の一つであるといわれるグリーンランド北東海岸を、氷や雪が残る厳しい初夏の息吹の中をめぐります。レイキャビクを出航した本船は、グリーンランドにある小さな村イトコルトルミットへ到着し、極地最後のハンターの生活にふれます。

ユネスコ生物圏保存地域に指定されている世界最大の国立保護区「北東グリーンランド国立公園」には人間の生活の痕跡は一切存在せず、見渡す限りの高山と力強い氷河が広がっています。訪れる時期はまだ、堅固で力強い海水が訪問者たちの前に立ちはだかることでしょう。それは同時に北極圏の野生動物を観察するには絶好の季節でもあります。運がよければ、狩りや獲物獲得に最適な場所を探すために単独行動を行うオスのホッキョクグマや、子グマに生きる術を教える母グマの姿を目撃することができるでしょう。国立公園北側には、1905年にオルレアン公が到達した地「イル・ド・フランス」が北極からの厚い流氷に守られています。



そりの犬

ハイライト

- ユネスコ生物圏保存地域に指定されている世界最大の国立公園「北東グリーンランド国立公園」へ出かけましょう。
- 経験豊富な自然ガイドチームとゾディアック・ボートやホバークラフトに乗り込み、上陸や海上ツアーをご堪能ください。
- 氷が広範囲に連なる中で、イヌイットの人びとと春の伝統行事を執り行う特別な時間を共有します。
- ノルウェー人猟師により作られた狩猟小屋の見学へ出かけましょう。
- 山、フィヨルド、美しい稜線、氷河、流氷、切り立った崖、極地の氷冠などの特別な風景をゆくクルーズライフをお楽しみください。
- ホッキョクグマ、イッカク、アザラシ、ジャコウウシ、ホッキョクギツネ、ホッキョクウサギ、シャチ、海鳥などとの出会いも楽しみです。
- カヤック、ハイキング、スノーシュー散策・アイスフィッシング、ポラーブランジ (氷冷海ダイブ)、アイスフローティング、科学研究への参画など、ユニークな体験が目白押しです。



2022年5月10日に出発するクルーズは、
ナショナルジオグラフィックとのコラボレーション企画です。

NEW

Polar Odyssey between
North East Greenland & Spitsbergen

北東グリーンランドと スピッツベルゲン島を結ぶ 極地探検

レイキャビク (アイスランド) 発 ▶
ロングイェールビーン (スピッツベルゲン島) 着

12泊13日

ル・コマンダン・シャルコー: 2022年6月3日

大人お一人様クルーズ代金: 18,700€~



従来のクルーズ船では立ち入ることのできないこの地域の初夏に、グリーンランドとその東海岸にあるスコアズビー湾を目指すクルーズです。厳しい季節でありながら神秘的な雰囲気になった氷の世界のど真ん中で、イヌイットの地と深く結びついたフランス人極地探検家ジャン・バティスト・シャルコーの航跡を辿ります。「北東グリーンランド国立公園」では、美しい色をした高山と圧倒的な氷河の風景の中に、猟師により作られた狩猟小屋を見つけることができるでしょう。運が良ければ地平線に様々な野生動物の姿を見ることができるともかもしれません。グリーンランド海を横断してノルダウスト・スピッツベルゲン国立公園へと北上します。かつてはこの地には多くの狩猟者が集まり鯨類、セイウチなどを狩猟していました。今ではその狩猟者の墓地だけが残り、逆に多くの野生動物が回復し生息しています。旅の終盤には、国際的研究拠点であり多くの北極点探査の出発点となった鉱山都市ニオーレスンのコングス・フィヨルドの氷河をご堪能ください。



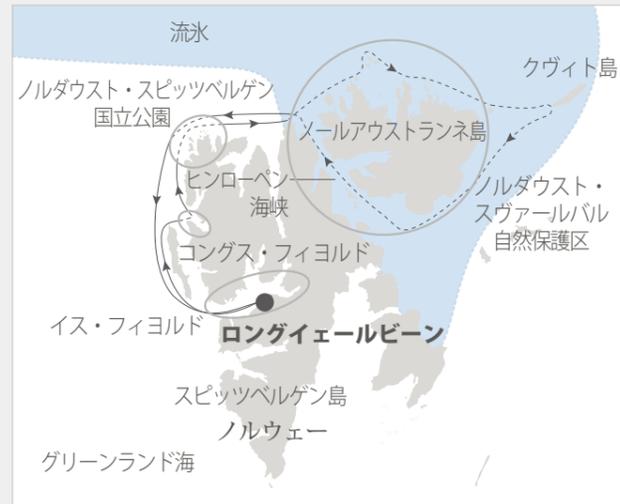
流氷上のセイウチ (スヴァールバル諸島)

ハイライト

- 雄大な自然に囲まれたグリーンランド北東部とスピッツベルゲン島を結ぶ、新しいエクスペディションです。
- ゾディアック・ボートやホバークラフトに乗り込みでの海上ツアーや上陸をお楽しみください。
- 氷が広範囲に連なる中で、イヌイットの人びとと春の伝統行事を執り行う特別な時間を共有します。
- ユネスコ生物圏保存地域や世界最大の国立公園では、極北の地での春の訪れを体感します。
- スピッツベルゲン島の壮大なフィヨルドや流氷の間を航行していきます。
- 山、フィヨルド、流氷、氷河、切り立った崖、極地の氷冠に囲まれた空間に身を置いて堪能する時間は格別です。
- ホッキョクグマ、イッカク、アザラシ、ジャコウウシ、ホッキョクギツネ、ホッキョクウサギ、セイウチ、シャチ、スヴァールバルトナカイ、海鳥などとの出会いも楽しみです。
- カヤック、ハイキング、スノーシュー散策、アイスフィッシング、ポラーブランジ (氷冷海ダイブ)、アイスフローティング、科学研究への参画など、ユニークな体験が目白押しです。

Exploring Nordaustlandet
ノールアウストラネ島の探索へ

ロングイェールビーン (スペッツベルゲン) 発着
8泊9日
ル・コマンダン・シャルコー:2022年6月15日
大人お一人様クルーズ代金:14,650€~



スピッツベルゲン島北部からノールアウストラネ島までの船旅。従来のクルーズ船ではこの時期にはアクセスできない僻地を探索します。

Kongsvik Fjordの壮大な風景を横切り、北西スピッツベルゲン国立公園を通過し、ノルダウスト・スヴァールバル自然保護区の海岸へと航海していきます。ヨーロッパ最大の氷冠と、この氷の風景を彩る印象的なフィヨルドを心ゆくまで堪能ください。ホッキョクグマの王国では、運が良ければ母グマが子グマに、狩りと生きていくための秘訣を教えている場面に出くわすことができるでしょう。航海はスヴァールバル諸島の最東端のクヴィト島を目指し、東へ東へと続きます。クヴィト島は島全体が真っ白な氷に覆われている土地で、セイウチの生息地です。ヒンローベン海峡を渡った先には、玄武岩の小島と海鳥のコロニー・セイウチ・ホッキョクグマ・ホッキョクギツネなどの豊かな海洋生態系を垣間見ることも。

スヴァールバル諸島で最も印象的なフィヨルドのひとつであり、様々な種類のクジラが姿を見せることでも有名なイス・フィヨルドにも立ち寄ります。



ノールアウストラネ島の海岸でのバードウォッチング

ハイライト

- 隔絶された土地として手付かずのまま残されたスヴァールバル諸島の豊かな自然に出会う旅です。
- 経験豊富な自然ガイドチームとゾディアック・ボートやホバークラフトに乗り込み、上陸や海上ツアーをご堪能ください。
- 流氷に囲まれた空間に身をゆだねる特別な時間をご堪能ください。
- 氷の大地、ヨーロッパ最大の氷冠であるノールアウストラネ島を周遊します。
- 氷に覆われた真っ白なクヴィト島への航海へ出かけましょう。
- スピッツベルゲン島とノールアウストラネ島の間にあるヒンローベン海峡を航行します。
- 流氷、美しい稜線を持つ山、切り立った崖、巨大な氷河などの合間をゆくクルージングをお楽しみください。
- ホッキョクグマ、イッカク、アザラシ、ジャコウウシ、ホッキョクギツネ、ホッキョクウサギ、セイウチ、シャチ、スヴァールバルトナカイ、海鳥などとの出会いも楽しみです。
- カヤック、ハイキング、スノーシュー散策・アイスフィッシング、ポラープランジ(氷冷海ダイブ)、アイスフローティング、科学研究への参画など、ユニークな体験が目白押しです。

Coming soon...

2022-23年 南極

ラグジュアリー極地探検船「ル・コマンダン・シャルコー」でゆくエクスペディション



Luxury Yacht Cruising
 ポナンでゆく、豪華ヨットクルージングの旅



サントリーニ二島 (ギリシャ)



ドブロブニク旧市街の風景 (クロアチア)



船上でのワイン・テイasting



オルタキョイ・モスク (イスタンブール、トルコ)



地中海の景色を眺めながらの朝食



コトル湾に浮かぶブルー・リリアル (モンテネグロ)

地中海の秘密の入り江からバルト海の歴史的都市まで、ポナンのラグジュアリースモールクルーズでは文化的刺激の堪能はもちろん、1万トン前後のプティック・クラスヨットスタイルでのクルージングを併せてお楽しみいただくことが可能です。スモールシップに特化した最先端デザインと当社ならではの哲学により、ポナンの船舶は、ラグジュアリー・エクスペディションにおいてもヨットスタイルのクルーズと同様な快適さを提供します。スモールシップの特徴を活かし、他の船舶では訪れることが困難だった小さな港にも寄港し、まだ見ぬ世界へ心も体もゆだねるとつておきのクルーズ体験へと誘います。

訪問地に心も身体も染まる体験

各寄港地で実施する上質なエクスカージョン・ツアーにより、寄港地の魅力を最大限に引き出し、さらなる豊かな体験のお手伝いをいたします。憧れの世界遺産や自然が作り出す絶景、文化的な伝統など、ポナンは訪問地のエッセンスを反映した豊かで多様なプログラムをご用意しています。アクティブに楽しみたいお客様には、自転車・カヤック・ラフティング・ヨット・4WDを使ったエクスカージョンの機会も。また、料理教室や地元の食材の試食などの、食にまつわる発見の機会もふんだんにをご用意しています。

一流専門家とのパートナーシップ

ポナンは、ご乗船いただいたお客様にさらに充実したクルーズライフをお過ごしいただくため、世界的に著名な一流専門家とパートナーシップを組んでいます。芸術・文学・美食やワインなど、多岐に渡るこれら一流専門家の方々との特別なコラボレーションにより、洋上生活も上陸時めいかなる場面においても、新しい発見や心躍る瞬間に満ちた、忘れられない特別な時間が重ねられていくことでしょう。



CHRISTIE'S



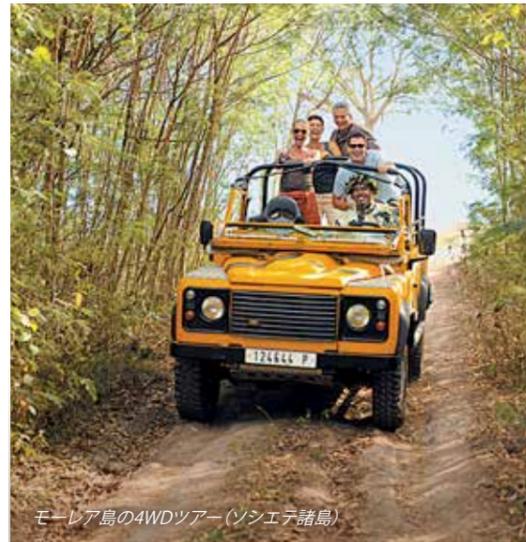
LOUVRE

Paul Gauguin CRUISES

美しきポリネシアへようこそ!



ポール・ゴーギャン・クルーズの
プライベート・バルコニーからの眺め



モーレア島の4WDツアー(ソシエテ諸島)



タヒチアンホストによる特別な歓迎



ポール・ゴーギャン(ボラボラ島)



ポール・ゴーギャン・クルーズでは、様々なウォーターアクティビティも、全て無料でご参加いただけます



ポール・ゴーギャン

ポール・ゴーギャン・クルーズは、20年以上に渡ってフランス領ポリネシアと南太平洋の近隣地域の素晴らしさをお客様にお伝えしてきました。数々の受賞歴のあるラグジュアリースモールシップ「ポール・ゴーギャン」は、ポナン以外の客船と同様な浅い喫水と限定された乗客数により、他では味わえないラグジュアリーな船旅とポリネシア文化のホスピタリティを提供します。ポール・ゴーギャンであれば、隠された入り江、離島、野生の姿のまま手付かずで残されているラグーンなど、特別な場所にも容易に辿り着くことが可能です。2019年からポナンが提供しているポール・ゴーギャン・クルーズ・シリーズには、スモールシップだけが持つのんびりとしたあたたかな雰囲気と非日常へのエスケープ、そして文化的な発見の日々が凝縮されています。生涯の思い出となる船旅をご体験ください。

ポリネシアのスペシャリスト

定員320名のポール・ゴーギャンは、息を呑むような美しさのラグーンやサンゴ礁、隠された小さな島々にも、できるだけ近づけるように特別にデザインされています。それぞれのクルーズは当社の専門家チームによって綿密に作成されており、フランス領ポリネシアやその他の近隣の楽園のようなスポットを心ゆくまで堪能することが可能です。スキューバダイビング・シュノーケリング・ウォータースポーツ・陸上での様々なエクスカッション・ツアーなど、様々なアクティビティを通してポリネシアの旅を満喫してください。

オール・インクルーシブ・クルーズ

本クルーズの料金には、行程中の全てのお食事とお飲み物(プレミアム・ドリンクは追加料金でご提供しております)、ミニバー、24時間ルームサービス、エンターテインメント、レクチャー、シュノーケリング用具、タハア島のプライベートアイランド&ボラボラ島のプライベートビーチへのアクセス、バトラーサービス(全スイートルームと一部の客室にご提供)が含まれています。乗船後は余計な気遣いなく安心して船旅をお楽しみいただけます。

他では味わえない船旅体験

船内での贅沢な時間と洗練されたサービスを楽しみながら探検気分を味わってみませんか?2021年に改装されたばかりの船内は、ボラボラ島に浮かぶ水上バンガローのようなアイランドスタイルを取り入れており、いたるところに設計された窓からはポリネシアの美しい光が差し込みます。オール・インクルーシブで完璧なサービス、ミシュランの星付きシェフ、ジャン=ピエール・ヴィガト氏による洗練された料理の数々、広々としたリラクゼーションエリア、全室オーシャンビューの客室や特別なスイートルームなど、ここにあるあらゆる要素があなたの旅を忘れられないものにしてくれるでしょう。

The
PONANT Fleet
Welcome on board...

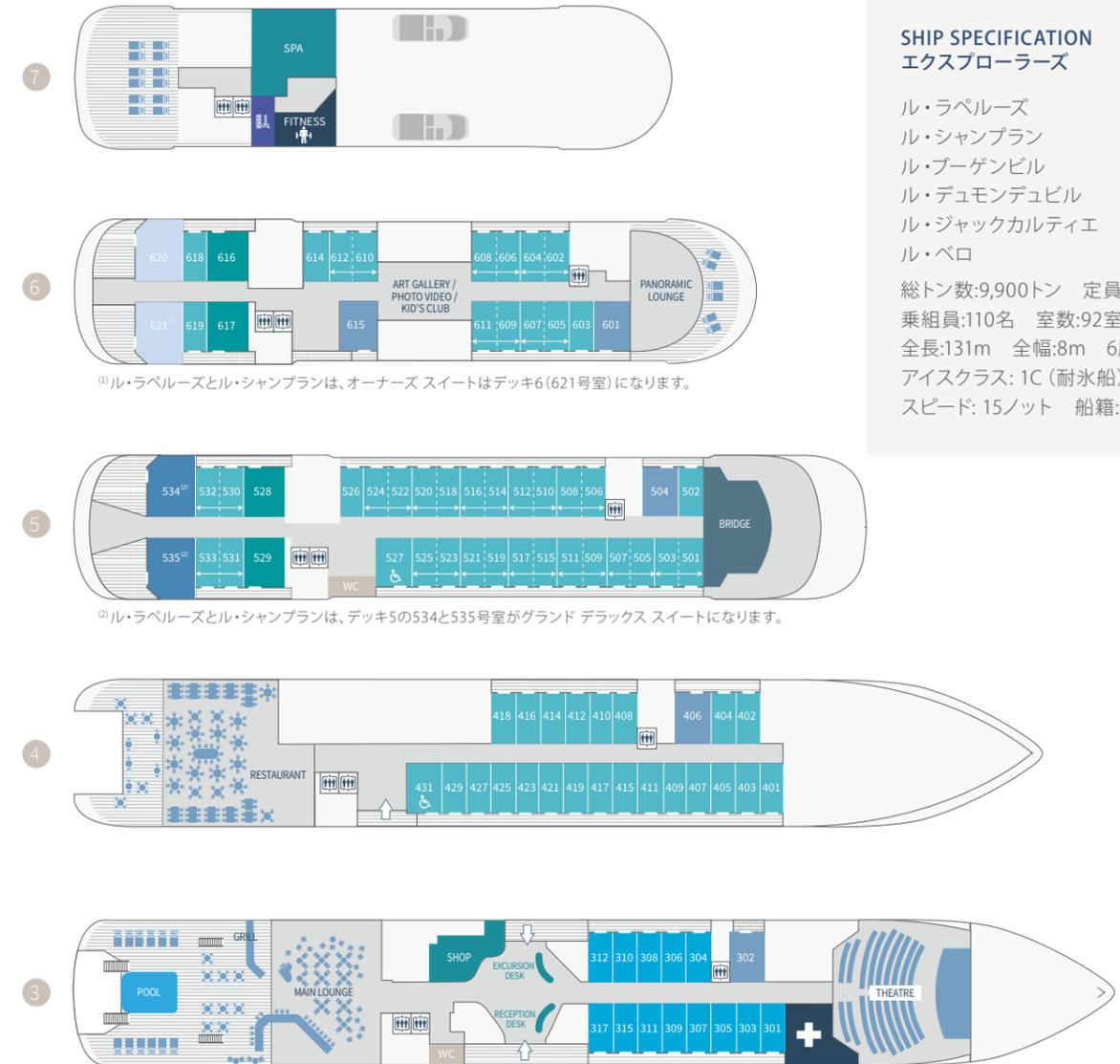
ポナンの客船



エクスプローラーシリーズ

ル・ラペルーズ / ル・シャンプラン / ル・ブーゲンビル
 ル・デュモンデュビル / ル・ベロ / ル・ジャックカルティエ

デッキプラン



SHIP SPECIFICATION
エクスプローラーズ

ル・ラペルーズ	2018年
ル・シャンプラン	2018年
ル・ブーゲンビル	2019年
ル・デュモンデュビル	2019年
ル・ジャックカルティエ	2020年
ル・ベロ	2020年

総トン数:9,900トン 定員:184名
 乗組員:110名 室数:92室
 全長:131m 全幅:8m 6層
 アイスクラス: 1C (耐氷船)
 スピード: 15ノット 船籍:フランス

①ル・ラペルーズとル・シャンプランは、オーナーズスイートはデッキ6(621号室)になります。

②ル・ラペルーズとル・シャンプランは、デッキ5の534と535号室がグランド デラックススイートになります。

- ⑦ フィットネス / ボナンヨットスパ
- ⑥ パノラミックラウンジ / プレステージステートルーム:14室(プレステージステートルーム10室をラグジュアリースイート5室に変更可能) / デラックススイート:2室 / プリビレッジスイート:2室 / グランド デラックススイート:2室 ※(ル・ラペルーズ&ル・シャンプラングランド デラックススイート:1室、オーナーズスイート:1室あり)
- ⑤ ブリッジ / プレステージステートルーム:29室(車イス対応設備付き1室含む)(プレステージステートルーム(26室)をプレステージスイート(13室)に変更可能) / デラックススイート:1室 / プリビレッジスイート:2室 / オーナーズスイート:2室 ※(ル・ラペルーズ / ル・シャンプランはグランド デラックススイート:2室あり)
- ④ レストラン / プレステージステートルーム:23室(車イス対応設備付き1室含む) / デラックススイート:1室
- ③ レセプション / エクスカーションデスク / メインラウンジ / プールデッキ / ショップ / 診療室 / シアター / デラックスステートルーム:13室 / デラックススイート:1室
- ② マリーナ
- ① 水中ラウンジ「ブルーアイ」

■ オーナーズスイート デッキ5 (ル・ラペルーズとル・シャンプランではデッキ6)	■ グランド デラックススイート デッキ5-6	■ デラックススイート デッキ3-4-5-6	■ デラックスステートルーム デッキ3
■ プリビレッジスイート デッキ5-6	■ プレステージスイート デッキ5-6	■ プレステージステートルーム デッキ4-5-6	

客室紹介

ル・ラペルーズ / ル・シャンプラン / ル・ブーゲンビル / ル・デュモンドビル / ル・ベロ
ル・ジャックカルティエ

オーナーズスイート

45㎡+ジャグジー+スライド出窓付きのプライベート・テラス40㎡*



(*ル・ラペルーズとル・シャンプランはプライベートテラスが30㎡となります)



グランド デラックススイート 3室

45㎡+スライド出窓付きのプライベート・テラス30㎡
※デッキ5はジャグジー+スライド出窓付きのプライベート・テラス40㎡
(ル・ラペルーズとル・シャンプランを除く)



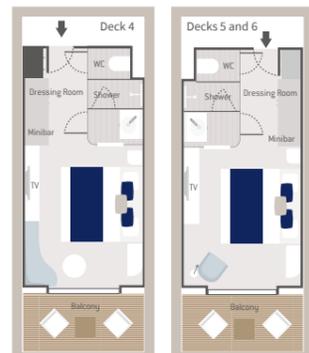
プレステージスイート 18室

38㎡+スライド出窓付きの
プライベート・バルコニー8㎡



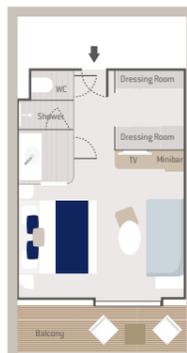
プレステージステート 66室

19㎡+スライド出窓付きの
プライベート・バルコニー4㎡



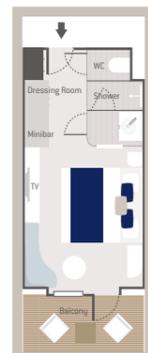
デラックススイート 5室

27.5㎡+スライド出窓付きの
プライベート・バルコニー6㎡



デラックスステート 13室

19㎡+プライベート・バルコニー4㎡
(窓は片開き)



客室設備

- ・ エアコン(各室で調整可能)
- ・ キングサイズベッド / ツインベッド、コネクティングルームあり(小さなお子様連れに対応します)
- ・ ミニバー
- ・ 衛星テレビ(航海の状況によっては使用不可なタイミングがあります)
- ・ ビデオオンデマンド
- ・ Bluetoothスピーカー (Bose™)
- ・ デスク、文房具
- ・ セーフティーボックス
- ・ エルメスのシャンプー、ボディーソープなどのバスルームアメニティ
- ・ ドレッサー、バスローブ、ヘアドライヤー
- ・ 電話(外部から直通で繋がります)
- ・ 110V 電源(A型、2フラットピン) / 220V 電源(C型、丸型2丸ピン)
- ・ 24時間ルームサービス
- ・ インターネットアクセス(Wi-Fi)

パブリックエリア

レセプション

レセプション / コンシェルジュデスク / エクスカーションデスク / オフィス / セールスオフィス / ショップ

ラウンジ

- ・ **メインラウンジ**
乗客全員が一度に会することができます。さまざまなショー、エンターテインメントの会場としても賑わいます。
- ・ **ブルーアイラウンジ**
40名を収容できる多感覚水中ラウンジです。
- ・ **パノラマラウンジ**
ライブラリー / インターネットスペース / バー、ライブ・エンターテインメントの会場としても賑わいます。 / パノラマテラスへは直接出られます。

レストラン

- ・ **グリルレストラン**
定員:70名
プールデッキに面しており、肉グリル、各種サラダ、デザートをお楽しみいただけます。
- ・ **パノラミックレストラン**
定員:乗客全員
ビュッフェ&テーブルサービス、ワインセラーを備えています。屋外に面しているので開放感のある雰囲気味わえます。

レクリエーション/リラクゼーション

- ・ **可動式船尾マリーナ**
簡単に下船・乗船を可能にする構造を採用しています。海で泳ぐ、カヤック、パドルボートなどの様々なマリンスポーツエクスペディションに参加する際のソディアック・ボートによる離船・帰船が簡単

に行えます。

- ・ **プールデッキ**
逆流防止装置を備えたパノラマビューのスイミングプールには、快適で魅力的なサンデッキ、アームチェアやソファを備えた屋外バー&ラウンジもございます。
- ・ **シアター**
定員:188名
最先端の音響・照明技術を備え、超高解像度の映像を投影可能なLEDスクリーンを搭載しています。
- ・ **ウェルネスエリア**
フランス・ソティス社との提携によるスパでは、マッサージ・トリートメント部屋、ビューティーケア部屋があり、ケラスターゼ/ロレアル・パリのヘアサロンも併設しています。サウナやジムは無料でご利用いただけます。



シスターシップシリーズ

ロストラル / ル・ボレアル / ル・ソレアル / ル・リリアル



SHIP SPECIFICATION シスターシップシリーズ

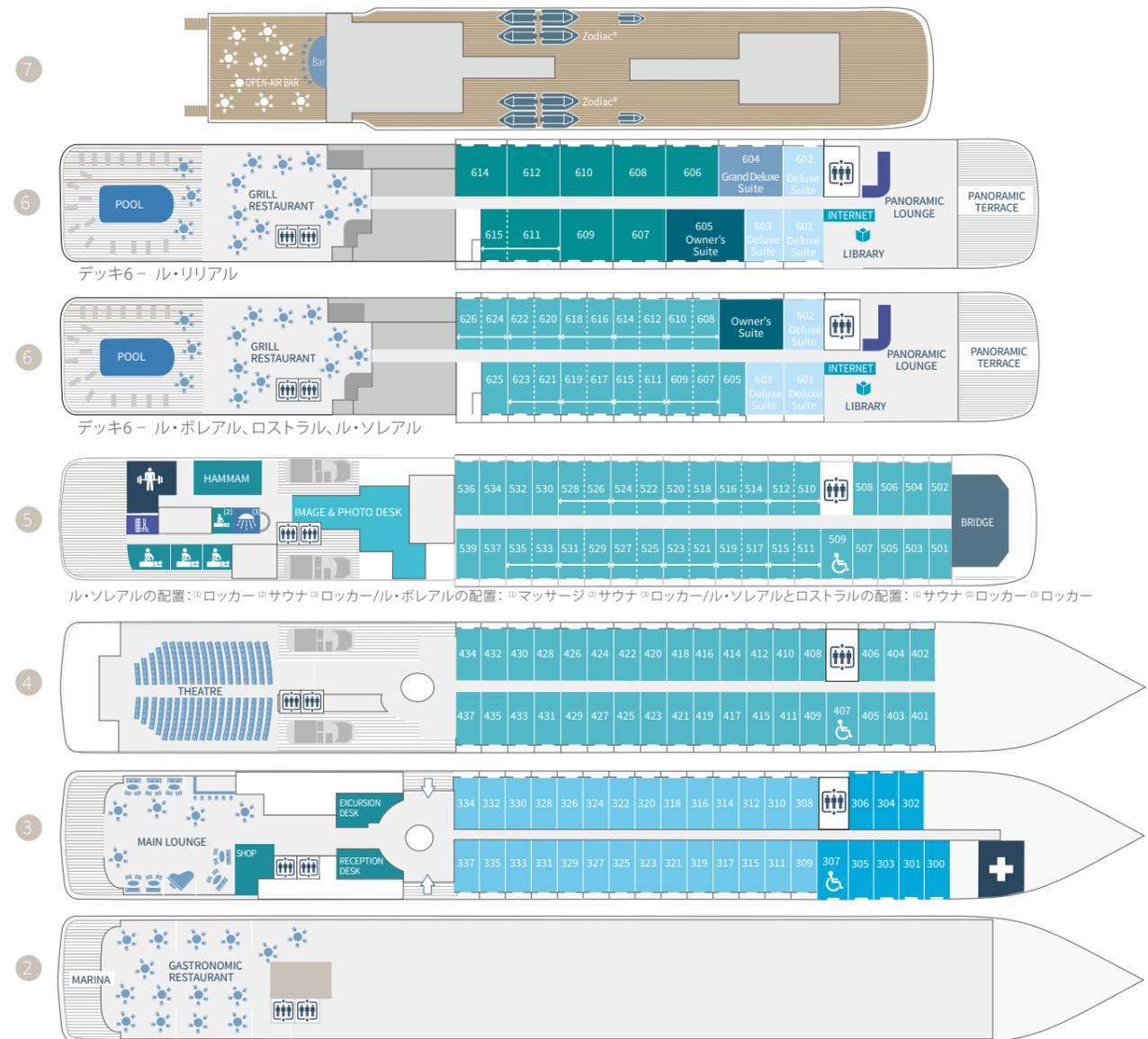
ル・ボレアル 2010年
ロストラル 2011年
ル・ソレアル 2013年

総トン数:10,700トン 定員:264名
乗組員: 140名 室数:132室 全長:142m 全幅:18m 6層
アイスクラス: 1C(耐氷船)
スピード: 14ノット 船籍:フランス

ル・リリアル 2015年

総トン数:10,990トン 定員:244名
乗組員: 139名 室数:122室 全長:142m 全幅:18m 6層
アイスクラス: 1C(耐氷船)
スピード: 14ノット 船籍:フランス

デッキプラン



- 7 屋外バー
- 6 ル・リリアル: オーナーズスイート:1室 / グランド プリビレッジスイート:1室 / デラックススイート(プライベート・バルコニー付き):3室 / グランド デラックススイート:1室 / プリビレッジスイート:8室 / プレステージスイート:1室 / プール / グリルレストラン / インターネットスペース / ライブラリー / パノラミッククラウンジ / パノラミックテラス
- 5 プレステージスイート(プライベート・バルコニー付き):37室 ※うちプレステージスイート22室はプレステージスイート11室に変更可能 / フィットネス / ビューティーコーナー(フランス・ソティス社と提携):サウナ、マッサージ、ヘアメイク / リラクゼーションルーム / 映像&写真デスク / ブリッジ
- 4 プレステージステートルーム(プライベート・バルコニー付き):35室 / シアター
- 3 デラックスステートルーム(プライベート・バルコニー付き):28室 / スーベリアステートルーム:8室 ※ステートルーム300号室、301号室は窓付き / メインラウンジ / ショップ / レセプション / エクスカーションデスク / 診療室
- 2 ガストロノミックレストラン / マリーナ

- オーナーズスイート デッキ6
- プリビレッジスイート デッキ6 - ル・リリアルのみ
- グランドプリビレッジスイート デッキ6 - ル・リリアルのみ
- プレステージスイート デッキ6-5 (ル・リリアルを除く)
- グランドデラックススイート デッキ6 - ル・リリアルのみ
- デラックススイート デッキ6
- プレステージステートルーム デッキ4-5-6
- デラックスステートルーム デッキ3
- スーベリアステートルーム デッキ3

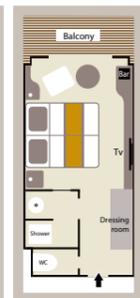
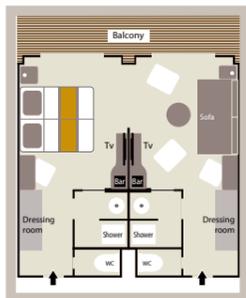
客室紹介

ロストラル / ル・ボレアル / ル・ソレアル

オーナーズスイート 45㎡+ジャグジー+スライド出窓付きのプライベート・テラス40㎡



グランド デラックススイート 20室 37㎡+プライベート・バルコニー8㎡
プレステージ ステートルーム 92室 18.5㎡+スライド出窓付きのプライベート・バルコニー4㎡



デラックススイート 3室 27㎡+スライド出窓付きのプライベート・バルコニー6㎡



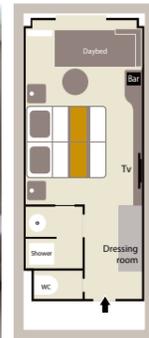
① プレステージスイートはル・ボレアルとル・ソレアルのみシャワーとバスタブが各1つ付きます。
② プレステージステートルームはル・ボレアルとル・ソレアルのデッキ5・6のみシャワーまたはバスタブが1つ付きます。

デラックススイートはル・ボレアルのみシャワーとバスタブが各1つ付きます。

デラックスステートルーム 28室 18㎡+プライベートバルコニー4㎡ (窓は片開き)



スーペリアステートルーム 8室 21㎡



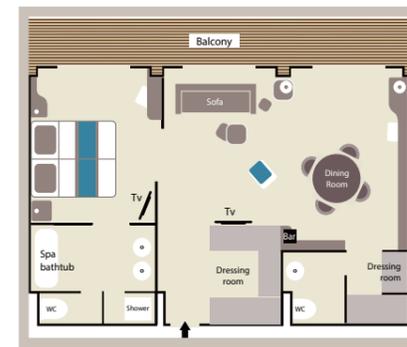
客室設備

- エアコン (各室で調整可能)
- キングサイズベッド/ツインベッド、コネクティングルームあり (小さなお子様連れに対応します)
- ミニバー
- 衛星テレビ (航海の状況によっては使用不可なタイミングがあります)
- ビデオオンデマンド
- Bluetoothスピーカー (Bose™)
- デスク、文房具

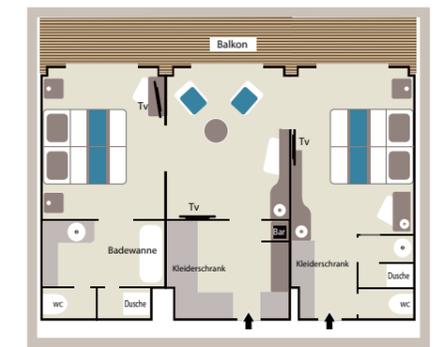
- セーフティーボックス
- エルメスのシャンプー、ボディーソープなどのバスルームアメニティ
- ドレッサー、バスローブ、ヘアドライヤー
- 電話 (外部から直通で繋がります)
- 110V 電源 (A型、2フラットピン) / 220V 電源 (C型、丸型2丸ピン)
- 24時間ルームサービス
- インターネットアクセス (Wi-Fi)

ル・リリアル

オーナーズスイート 55㎡+スライド出窓付きのプライベート・バルコニー12㎡



グランド プリビレッジスイート 55㎡+スライド出窓付きのプライベート・バルコニー12㎡



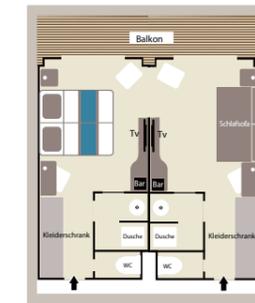
グランド デラックススイート 45㎡+スライド出窓付きのプライベート・バルコニー10㎡



プリビレッジスイート 8室 37㎡+スライド出窓付きのプライベート・バルコニー8㎡



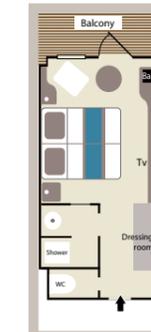
プレステージ ステートルーム 73室 18.5㎡+スライド出窓付きのプライベート・バルコニー4㎡
プレステージスイート 11室 37㎡+スライド出窓付きのプライベート・バルコニー8㎡



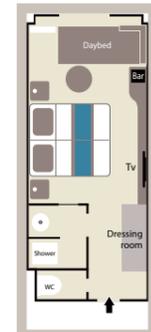
デラックススイート 3室 27㎡+スライド出窓付きのプライベート・バルコニー6㎡



デラックスステートルーム 28室 18㎡+プライベート・バルコニー4㎡ (窓は片開き)



スーペリアステートルーム 8室 21㎡



パブリックエリア

レセプション

レセプション / エクスカーションデスク

ラウンジ

- メインラウンジ
屋内収容人数: 110人
屋外収容人数: 30人
アフタヌーンティー、ライブミュージック、ダンスフロア、カクテルバーの会場としてもにぎわいます。屋外テラスに直接出られます。
- パノラミックラウンジ
ライブラリー / インターネットデスク
カクテルバー / 時にはライブエンター

テイメントの会場としてもにぎわいます。パノラマテラスへは直接出られます。

- 屋外バー (プールデッキ)
座席数: 50席
プールデッキを眺めながらお楽しみいただけます。

レストラン

- ガストロミックレストラン
収容人数: 268人
朝食、昼食、夕食に利用できるメインダイニングでは、フランス料理と世界各国の料理をご提供しています。高級ワインセラーも完備しています。

グリルレストラン

屋内収容人数: 90人
屋外収容人数: 60人
朝食、ランチビュッフェ、テーマ・ディナーを提供するカジュアルスタイルのレストランです。

レクリエーション/リラクゼーション

- シアター
収容人数: 250人
メインショールームとして、会議の開催や時にはライブエンターテイメントなどを行います。最新のオーディオ/映像技術の設備を搭載しています。

ウェルネスエリア

フランス・ソティス社との提携によるスパでは、マッサージ・トリートメントルーム、ビューティーケアルームがあり、ケラスターゼ/ロレアル・パリのヘアサロンも併設しています。サウナやジムは無料でご利用いただけます。

レジャーエリア

映像 & 写真デスクで撮影した写真やビデオをご購入いただけます。 / キッズクラブのゲームエリアにはWiiとPS4もご用意しています。



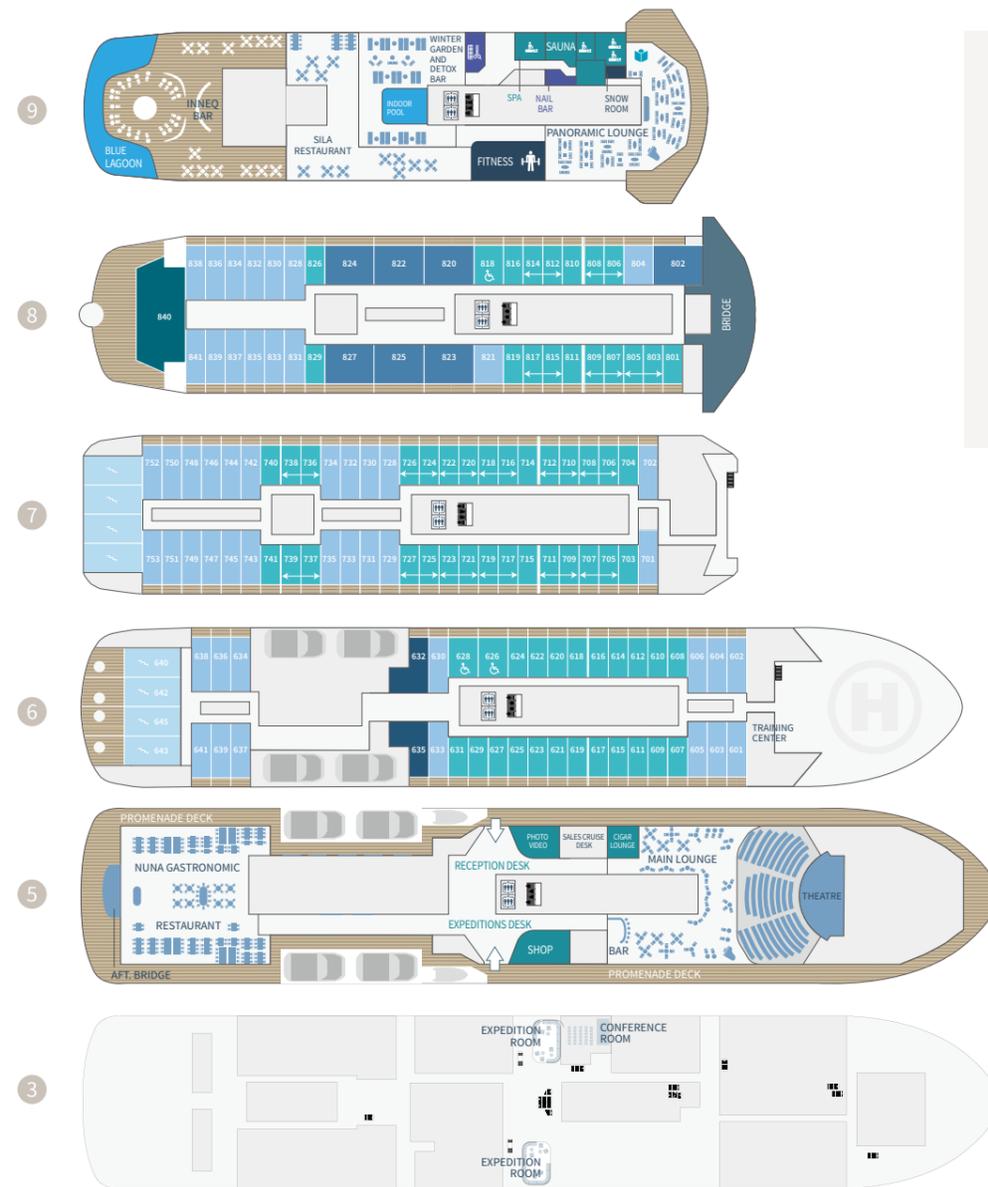
LE COMMANDANT CHARCOT

ル・コマンダン・シャルコー

デッキプラン

SHIP SPECIFICATION ル・コマンダン・シャルコー

就航:2021年
 総トン数:30,000トン
 定員:270名
 乗組員: 190名
 室数:139室
 全長:150m
 全幅:28m 6層
 アイスクラス: PC2(砕氷船)
 船籍:フランス



- 9 レストラン「シラ」/バー&ラウンジ「パノラミック」/フィットネス/「ピオロジックルシエルシュ」スパ(スノールーム、マッサージルーム、サウナ、ネイルショップ、美容院)/ウィンターガーデン/プール(室内・室外)/屋外バー「イネク」/ライブラリー
- 8 オーナーズスイート/デラックススイート:14室/プリビレッジスイート:7室
プレステージステートルーム:18室(身体の不自由な方向け設備付き1室含む)
(プレステージステートルーム10室をプレステージスイート5室に変更可能)
/ブリッジ
- 7 デラックススイート:22室/プレステージステートルーム:30室(プレステージステートルーム24室をプレステージスイート12室に変更可能)
- 6 デュプレックススイート:4室/グランドプレステージスイート:2室/デラックススイート:14室/プレステージステートルーム:23室(身体の不自由な方向け設備付き2室含む)
- 5 ガストロ/ミックレストラン「ヌナ」/シアター/メインラウンジ/シガーラウンジ
ショップ/レセプション/エクスペディションデスク/映像&写真デスク/クルーズセールスデスク/プロムナードデッキ/AFTブリッジ
- 4 診療室
- 3 左舷と右舷に2つのエクスペディション用乗降ルーム/会議室

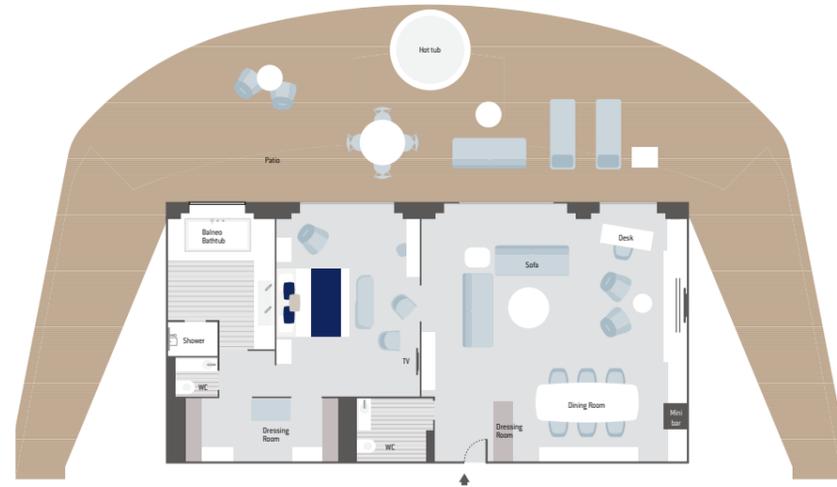
■ オーナーズスイート	■ グランドプレステージスイート デッキ6	■ デラックススイート デッキ6-7-8
■ デュプレックススイート	■ プレステージスイート デッキ7-8	■ プレステージステートルーム デッキ6-7-8
■ プリビレッジスイート デッキ8		

客室紹介

ル・コマンダン・シャルコー

オーナーズスイート

115㎡+のジャグジー付きプライベート・テラス186㎡



デュプレックススイート4室

94㎡+ジャグジー付きプライベート・テラス26㎡



プリビレッジスイート7室

48㎡+プライベート・バルコニー12.5㎡



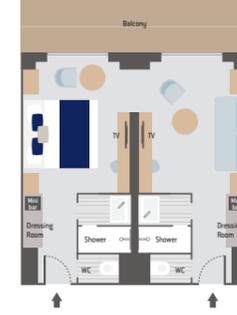
グランドプレステージスイート2室

42㎡+プライベート・バルコニー5㎡



プレステージスイート17室

40㎡+プライベート・バルコニー10㎡



プレステージステートルーム71室

20㎡+プライベート・バルコニー5㎡



デラックススイート50室

28㎡+プライベート・バルコニー5㎡



客室設備

- 全キャビン:プライベート・バルコニー付き
- デュプレックススイート / オーナーズスイート:テラス付き
- オーナーズスイート / デュプレックススイート / プリビレッジスイート / グランドプレステージスイート:パトラーサービスと優先搭乗サービス
- エアコン(各室で調整可能)
- キングサイズベッド / ツインベッド、コネクティングルームあり
- 衛星テレビ(航海の状況によっては使用不可なタイミングがあります)
- ビデオオンデマンド
- セーフティボックス
- ディプティック・パリのシャンプー、ボディーソープなどのバスルームアメニティ
- ドレッサー、バスローブ、ヘアドライヤー
- 電話(外部から直通で繋がります)
- 110V電源(A型、2フラットピン) / 220V電源(C型、丸型2丸ピン)
- 24時間ルームサービス
- インターネットアクセス(Wi-Fi)
- ミニバー
- Bluetoothスピーカー(Bose™)

パブリックエリア

レセプション

レセプション / エクスベディションデスク / ショップ
映像 & 写真デスク

ラウンジ

メインラウンジ / シガーラウンジ / ティー・ルーム & バー(特定日夜に音楽の生演奏があります)

展望ラウンジ

展望ラウンジ / ライブラリー、読書エリア / ライブ・エンターテイメント(特定日夜に開催します)

屋外バー「イネク」:バラエティに富んだ洗練されたスイーツや食を提供します

デトックス・バー:ソファ、アームチェアを完備しています。

焚き火台:極地の風景を暖かな火のある快適な環境でお過ごしいただけます。

レストラン

ガストロミックレストラン「ヌナ」
朝食・昼食・夕食の提供 / フランス料理と世界各国の料理をご提供しています。 / 高級ワインセラーを完備しています。

レストラン「シラ」

収容人数(屋外グリルエリア):62名
収容人数(屋外エリア):142名 / 朝食、昼食、ビュッフェ、テーマ別ディナーを提供するカジュアルスタイルのレストランです。

レクリエーション / リラクゼーション

プロムナードデッキ
途切れることなく続くプロムナードデッキは、船首まで続いています。

エクスベディションゾディアック:14隻

エクスベディションルーム、会議室

ウェルネス・エリア

「ピオロジック・ルシェルシュ」スパ(マッサージ・ビューティー:3部屋、ネイルサロン:1部屋、海の見えるラウンジ:2箇所) / ヘアサロン(ダヴィネス製品使用) / サウナ / スノー・ルーム / ジム(ジム担当コーチ付き)

プール・エリア

逆流防止装置を備えた屋内温水プール(大きなガラス窓から光が差し込む天窗あり) / 外に面した大きな窓を備えたサン・ルーム / デトックス・バー(ソファ、アームチェア完備しています。)

シアター:収容人数:270名 / ライブラリー

